



Attain3

Attain3 操作説明書

エスエイティーティー株式会社

2011年10月 ver 1.0.3



目次

1. はじめに.....	4
1.1 はじめに.....	4
1.2 Attain3 管理者スタートアップ作業手順.....	4
2. ATTAIN3 の画面構成.....	5
2.1 ログイン画面.....	5
2.2 管理者画面.....	6
2.3 受講者画面.....	7
3. 受講者の操作.....	8
3.1 受講者にできること.....	8
3.2 学習進捗に関するステータス一覧.....	8
3.2.1 教材一覧の見方、操作.....	8
3.2.2 学習進捗状況.....	9
3.2.3 教材の種類.....	10
3.3 教材(SCO)の起動.....	11
3.4 状況レポート.....	13
3.5 ログアウト.....	15
4. 管理者の操作.....	16
4.1 管理者ができること.....	16
4.2 Quick modeの使い方.....	17
4.2.1 Quick modeとは.....	17
4.2.2 Quick mode画面の説明.....	18
4.2.3 受講者へのコース割り当てと解除①: 1名に1つのコース.....	20
4.2.4 受講者へのコース割り当てと解除②: 1名に複数(すべて)のコース.....	22
4.2.5 受講者へのコース割り当てと解除③: 複数名(全受講者)に1つのコース.....	23
4.3 配信管理 > 教材の割り当て.....	24
4.3.1 教材の割り当て.....	24
4.3.2 教材名から割り当て.....	25
4.3.3 受講者名から割り当て.....	27
4.3.4 教材名からグループ単位で割り当て.....	29
4.4 進捗管理 > レポート作成.....	31
4.4.1 レポート作成とは.....	31
4.4.2 レポート作成 > 「ITEMS」.....	32
4.4.3 レポート作成 > 「コース単位」.....	35
4.4.4 レポート作成画面 > 「受講者単位」.....	38
4.5 受講者管理 > 受講者の登録・確認・編集.....	41
4.5.1 受講者の登録・確認・編集.....	41
4.5.2 受講者の登録・確認・編集 > 確認・編集・削除.....	42
4.5.3 受講者の登録・確認・編集 > 新規登録.....	43
4.5.4 受講者の登録・確認・編集 > CSVによるインポート.....	44
4.6 受講者管理 > グループの編集.....	46
4.6.1 グループの編集.....	46
4.6.2 グループの編集 > グループ名から編集.....	47
4.6.3 グループの編集 > 受講者名から編集.....	49
4.6.4 グループの設定 > グループの設定.....	51
4.7 教材管理 > 教材の登録・確認・編集.....	53
4.7.1 教材の登録・確認・編集.....	53



4.7.2 CHECK IN(チェックイン)とCHECK OUT(チェックアウト)	54
4.7.3 教材を登録するには	55
4.7.4 教材の登録 > コースの追加	55
4.7.5 教材の登録 > コンテナの追加	57
4.7.6 教材の登録 > SCOの追加	58
4.7.7 教材の登録 > コンテナ内へのSCOの追加	60
4.7.8 教材(コース、コンテナ、SCO)の編集	61
4.7.9 教材(コース、コンテナ、SCO)の削除	61
4.7.10 SCOの移動	62
4.8 教材管理 > コースのインポート	63
4.8.1 コースのインポート	63
4.8.2 コースのインポート > インポート	64
4.9 Attain3について > 環境設定	65
4.9.1 環境設定	65
4.9.2 環境設定を変更するには	66
4.10 Attain3について > 受講者のログオフ	67
4.10.1 受講者のログオフ	67
4.11 ログアウト	68
5. ATTAIN3 の動作環境	69



1. はじめに

1.1 はじめに

Attain3 はeラーニングの国際規格である「SCORM1.2」と「SCORM2004」に対応する LMS(ラーニング・マネジメント・システム)です。Attain3 のユーザーには管理者と受講者があり、それぞれ次の操作を行えます。

管理者	教材の登録・確認・編集
	受講者に対する教材の割り当て(受講者に任意の教材の学習を可能にする)
	学習の進捗管理
	受講者やグループの登録・確認・編集
受講者	管理者によって割り当てられた教材の学習
	学習履歴の確認

1.2 Attain3 管理者スタートアップ作業手順

管理者は次の手順により作業を進めることで Attain3 の運用をスムーズに開始することができます。

- ①グループの登録 4.6.4 グループの設定 > グループの設定
 受講者を登録する前に予めグループを登録しておきます。(注)



- ②受講者の登録 4.5.3 受講者の登録・確認・編集 > 新規登録



- ③学習教材の登録 4.7.4 教材の登録 > コースの追加



- ④受講者へ学習教材の配信を設定... 4.3.1 教材の割り当てまたは 4.2.1 Quick mode とは

(注)

グループ登録は、必須ではありません。教材及び受講者を登録し、教材を受講者に割り当てれば受講者は割り当てられた教材を学習することができます。



2. Attain3 の画面構成

2.1 ログイン画面

Attain3 を使用する際はまずブラウザを起動し、Attain3 の URL にアクセスします。正常に接続されるとログイン画面が表示されます。

ログインするには

管理者としてログインするには

- ①管理者用の「USER ID」を入力します。
- ②管理者用の「PASSWORD」を入力します。
- ③「LOGIN」ボタンをクリックします。

受講者としてログインするには

- ①受講者用の「USER ID」を入力します。
- ②受講者用の「PASSWORD」を入力します。
- ③「LOGIN」ボタンをクリックします。

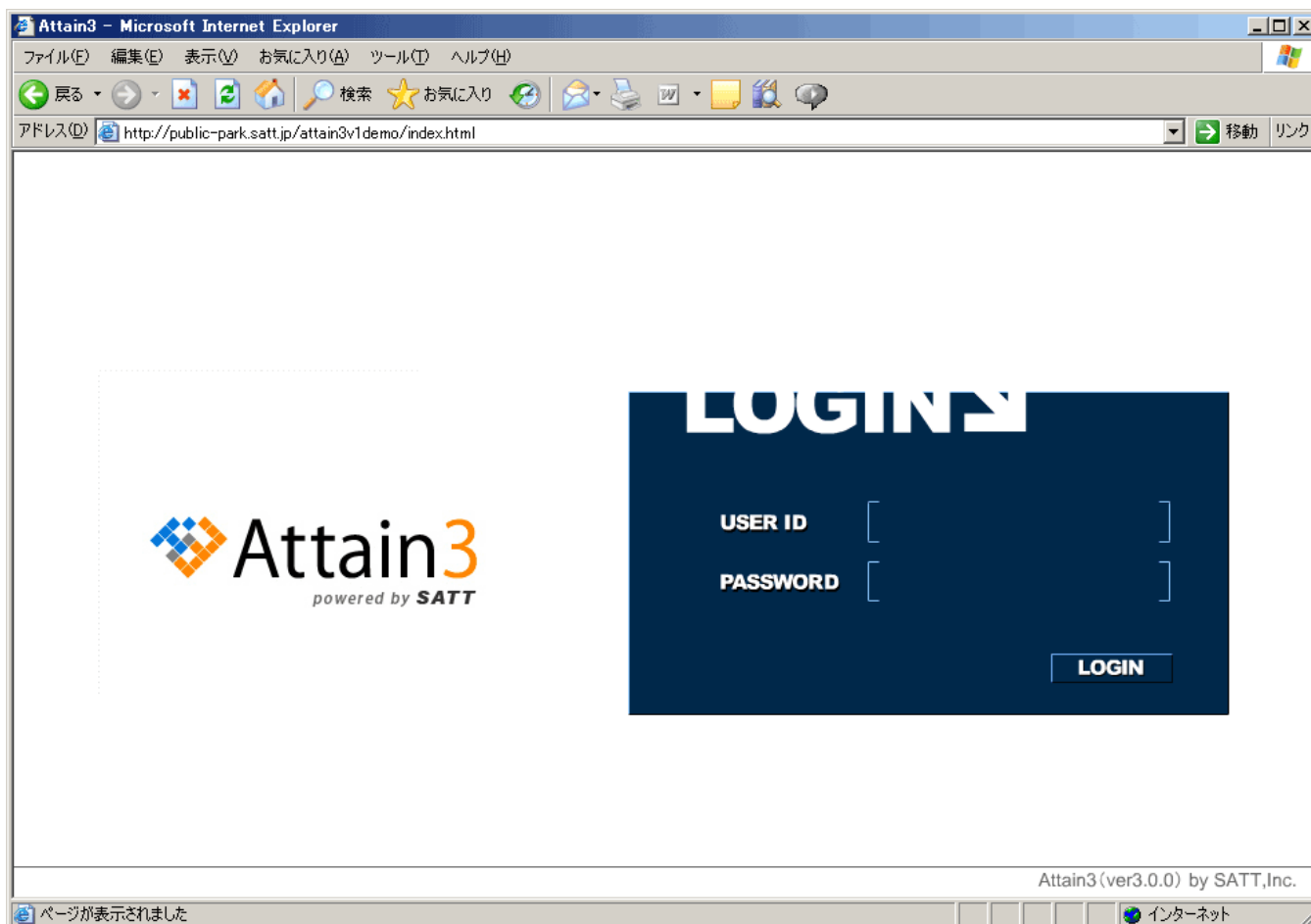
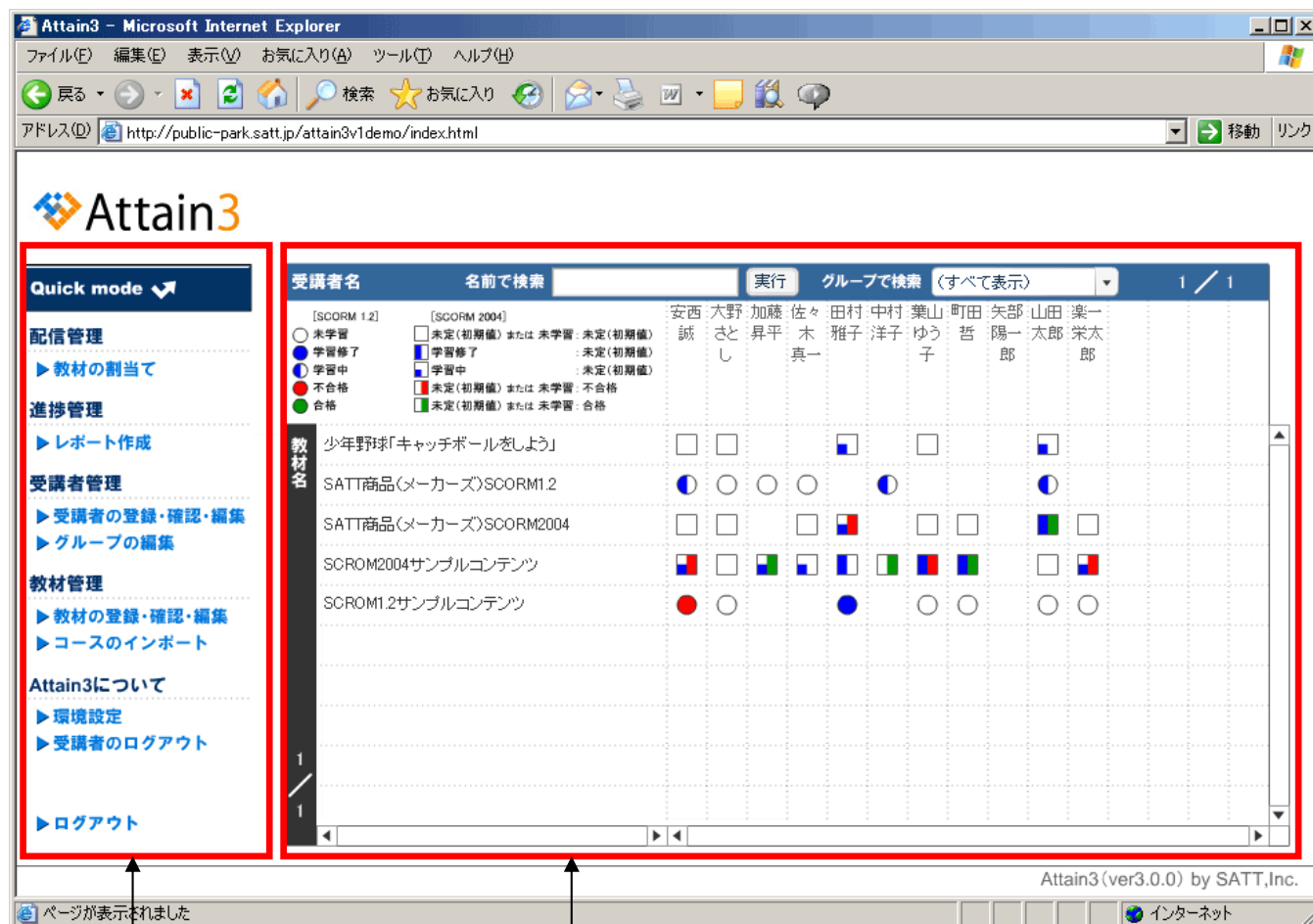


図 2. 1. 1 Attain3 ログイン画面



2.2 管理者画面

管理者画面は左側にナビゲーションエリアがあり、ここに機能別にナビゲーションボタンが配置されています。ナビゲーションエリアのボタンをクリックすると右側のメインエリアにクリックしたナビゲーションボタンに対応する機能画面が表示されます。



ナビゲーションエリア

メインエリア

図 2.2 管理者画面(ログイン直後に表示される画面)



2.3 受講者画面

受講者画面では、左側に教材一覧、右側に教材情報が表示されます。

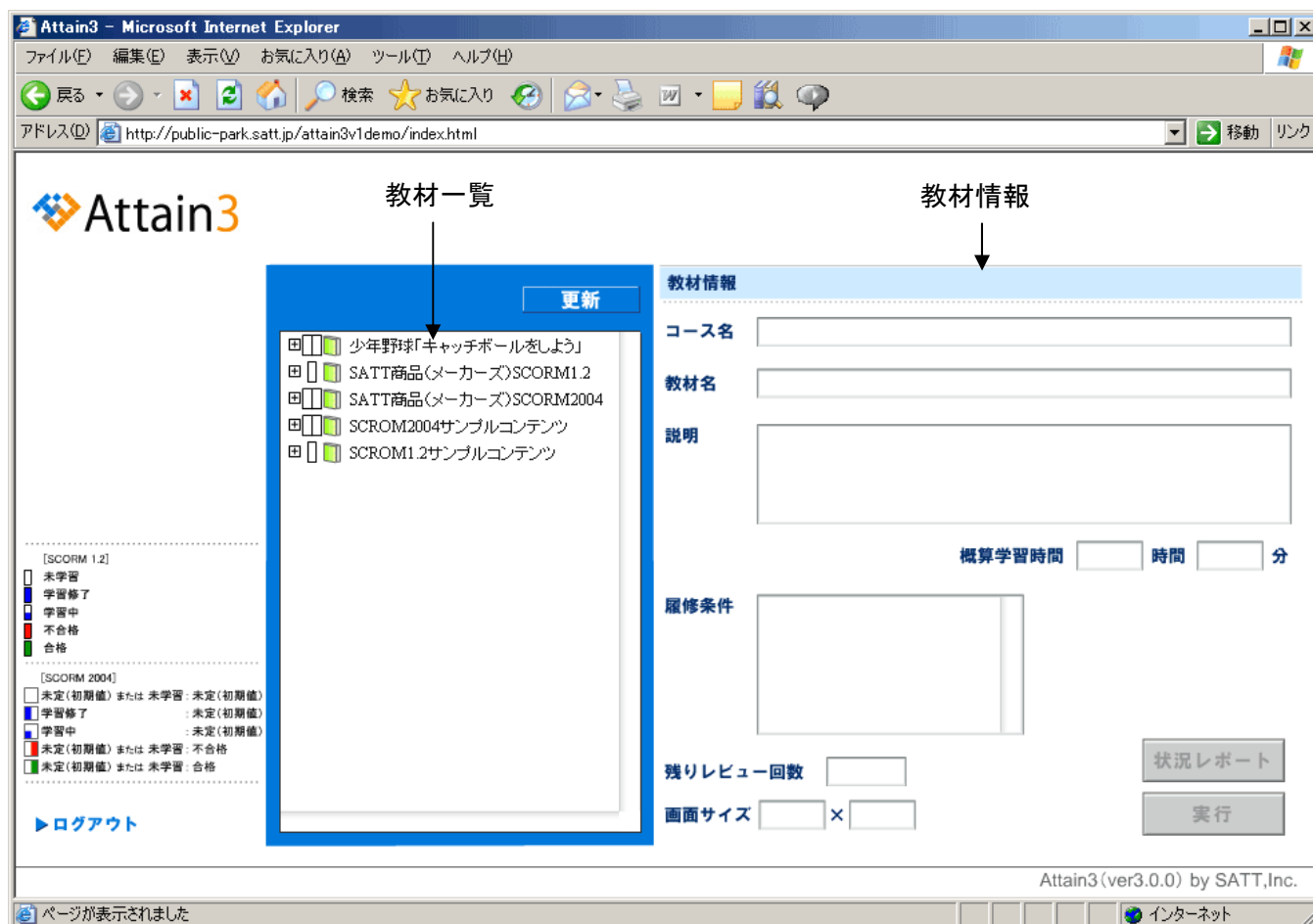


図 2.3 受講者画面(ログイン直後)



3. 受講者の操作

3.1 受講者にできること

Attain3 に登録された受講者は、管理者が割り当てたコース(教材)に対して、次の操作ができます。

- 教材(SCO)の学習
- 「進捗状況レポート」の表示

受講者のこれらの操作について、説明していきます。

3.2 学習進捗に関するステータス一覧

3.2.1 教材一覧の見方、操作

教材一覧にはコースが表示され、ナビゲーションエリアには、「ログアウト」ボタンのみ表示されます。コースの教材情報はコースフォルダの中に隠れています。

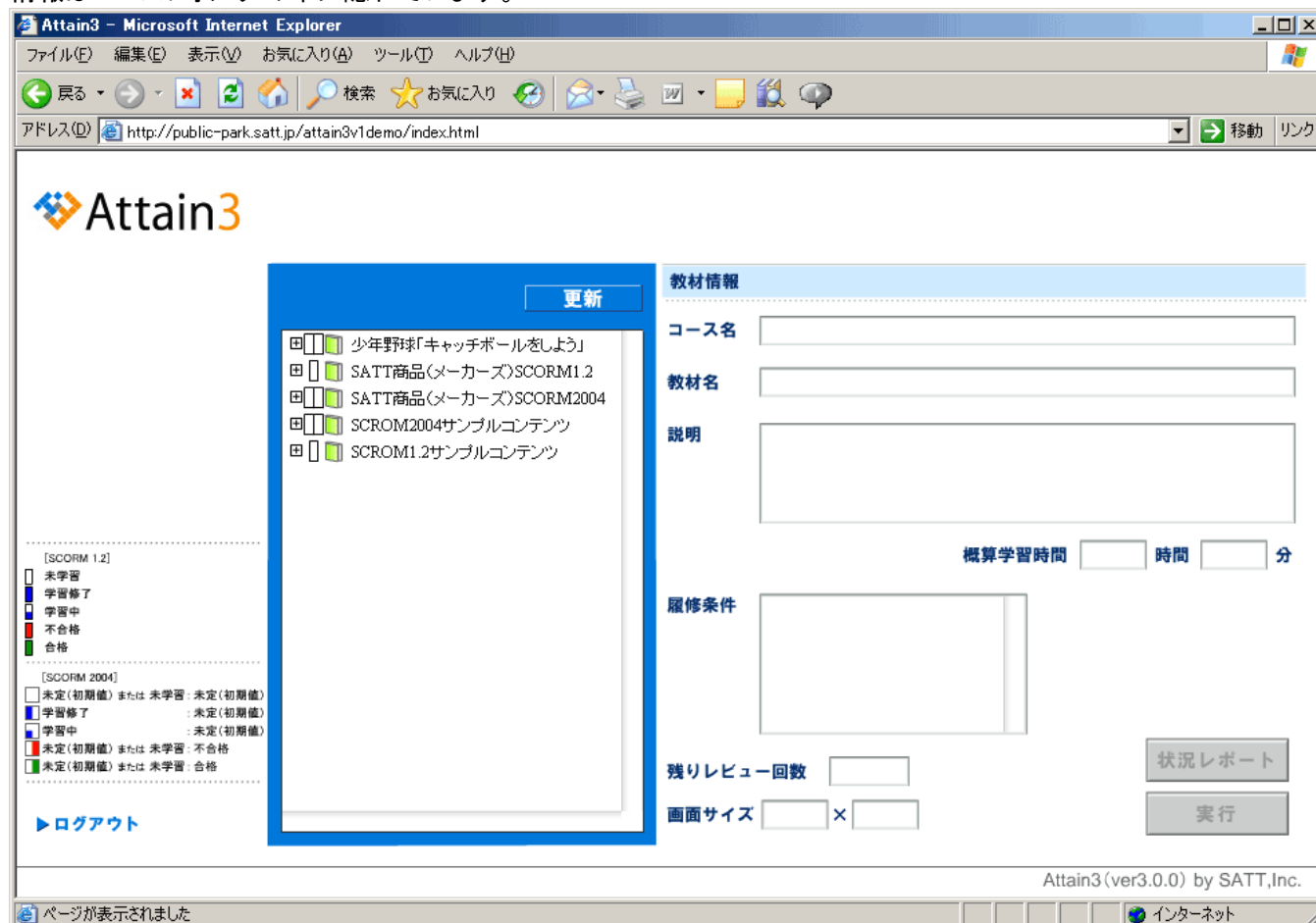


図 3. 2. 1 受講者画面 (LOGIN 直後の画面)

教材一覧のコース名の左シンボルについて

田 日	□	■
コースやコンテナの展開(田)/折りたたみ(日)を行うボタン	受講者の学習進捗状況を示すアイコン	コースを示すブックシンボル



3.2.2 学習進捗状況

展開(田)ボタンの右にある縦長の長方形について説明します。これは受講者の学習進捗状況を示すもので、表示の違いにより、以下の表のとおりの意味があります。



SCORM1.2 の場合、保存可能な進捗状況は 1 種類なので、以下のいずれかが表示されますが、SCORM2004 の場合、修了と合格を別個に進捗として保存するため、縦長の長方形が 2 個表示されます。「SCORM2004 種類」欄の「**コンプリーションステータス + サクセスステータス**」が表示されます。

画面表示	意味	SCORM 用語	内容	SCORM2004 種類
□	未定	unknown	まだ履歴の送信が実行されていません。	
	未学習	not attempted	受講者が教材を学習していない状態です。	
▢	学習中	incomplete	受講者が教材を学習中(修了、合格していない)の状態です。	コンプリーションステータス
▣	学習修了	completed	受講者が教材を一通り学習し終えた(合格はしていない)状態です。	コンプリーションステータス
▤	合格	passed	受講者が教材で合格と決められた結果を達成した状態です。	サクセスステータス
▥	不合格	failed	受講者が教材で合格レベルに達しなかった結果の状態です。	サクセスステータス

コンプリーション
ステータス

サクセス
ステータス



 SCORM2004 サンプルコンテンツ
 SCORM1.2 サンプルコンテンツ

……SCORM2004 対応コース。(進捗状況が 2 種類)
 ……SCORM1.2 対応コース。(進捗状況が 1 種類)

(注)

学習履歴情報(進捗状況)は学習教材より、Attain3 に送信されるものです。したがって、学習教材が SCORM2004 または SCORM1.2 に対応していないと、Attain3 上に履歴情報は表示されません。

Attain3

3.2.3 教材の種類

教材種別のシンボル(📁、📂または📄)について説明します。

- 📄 …コースを示します。コンテナや教材(SCO)を格納します。
- 📂 …コンテナを示します。教材(SCO)を格納します。
- 📄 …教材(SCO)です。起動単位となります。

コースやコンテナはフォルダのようなもので教材(SCO)を格納します。

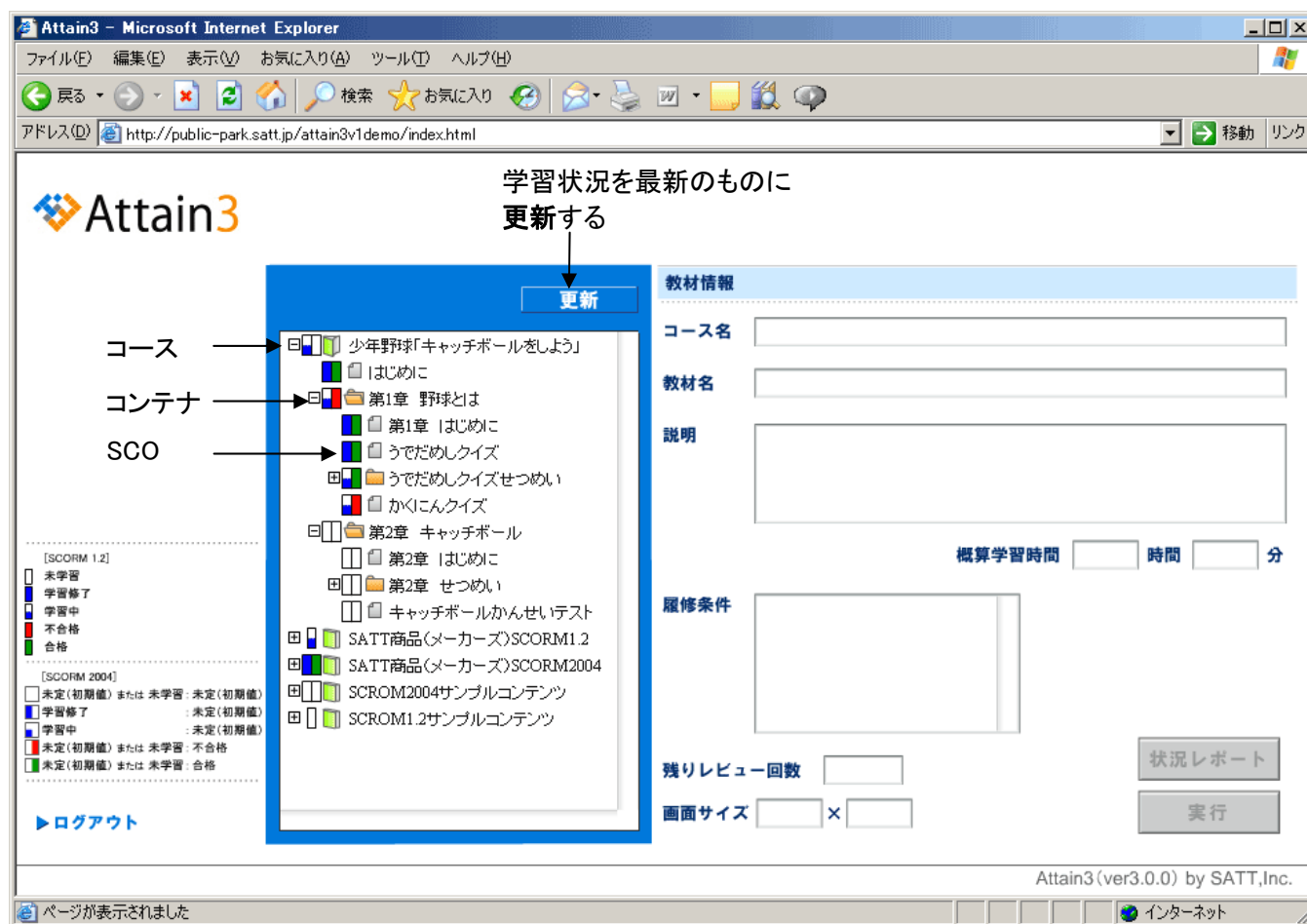


図 3. 2. 3 受講者画面(教材一覧の展開(田)ボタンクリック後の画面)



3.3 教材(SCO)の起動

学習を開始するには、受講者は次の操作を行います。

教材を起動するには

①コースやコンテナをクリック(展開)して、学習したい教材(SCO)を選択します。

②「実行」ボタンをクリックします。

選択した教材(SCO)が起動します。

ブラウザやアンチウィルスの設定で、ポップアップブロックが有効になっていると教材が起動しません。許可するサイトとしてアドレスを指定するなどの操作が必要です。

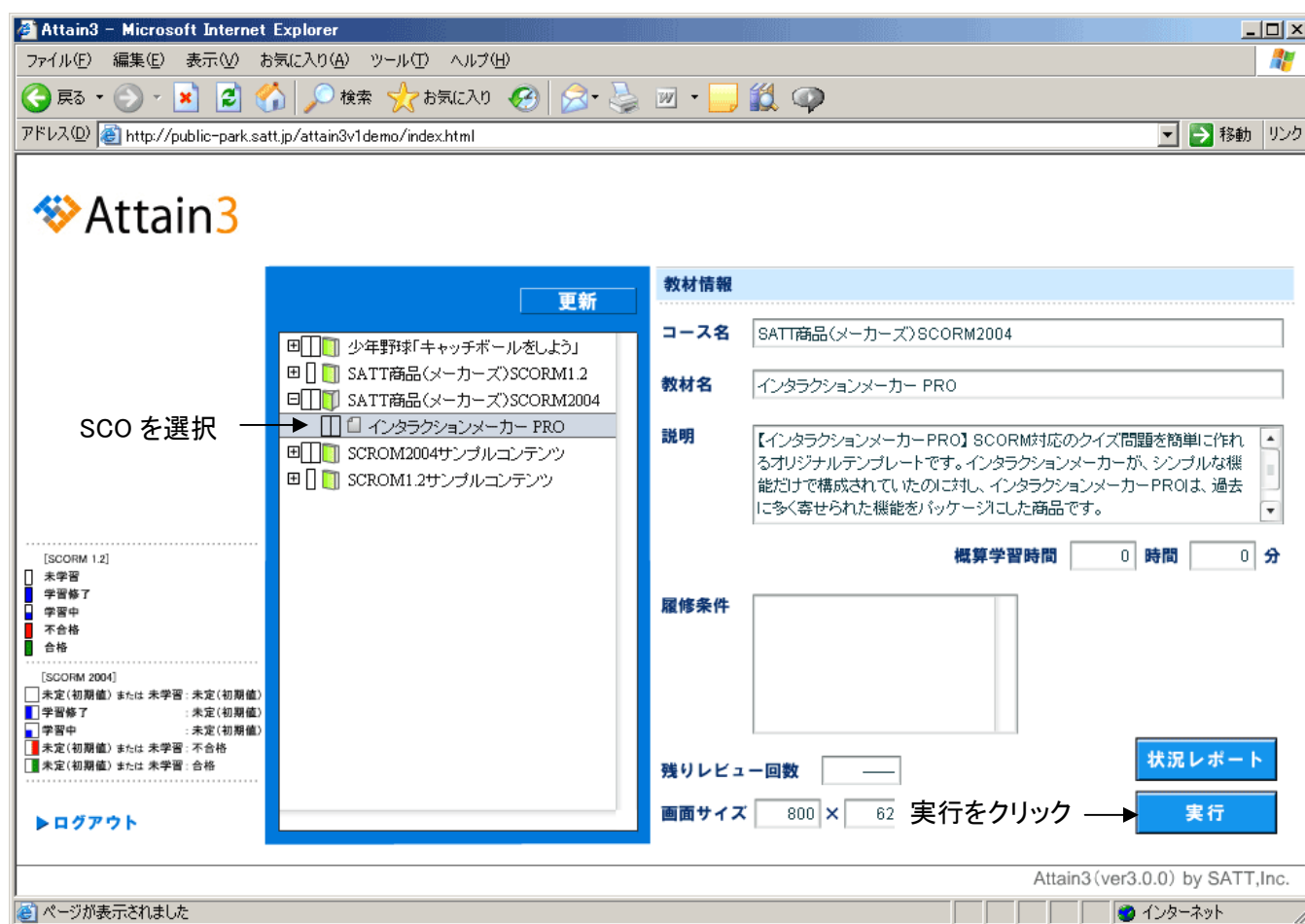


図 3.3 教材(SCO)の選択



以下は、教材(SCO)画面が起動した画面です。

教材の上にあるツールバーは Attain3 の「LMS ツールバー」で、SCO 間の移動や終了を実行します。SCO 間の遷移は、基本的には教材一覧の並び順ですが、マニフェストファイルからインポートした SCORM2004 教材の場合は、マニフェストファイルの指定する動作に従います。

SCORM2004 教材起動画面

「前へ」: 前の SCO に移動します。

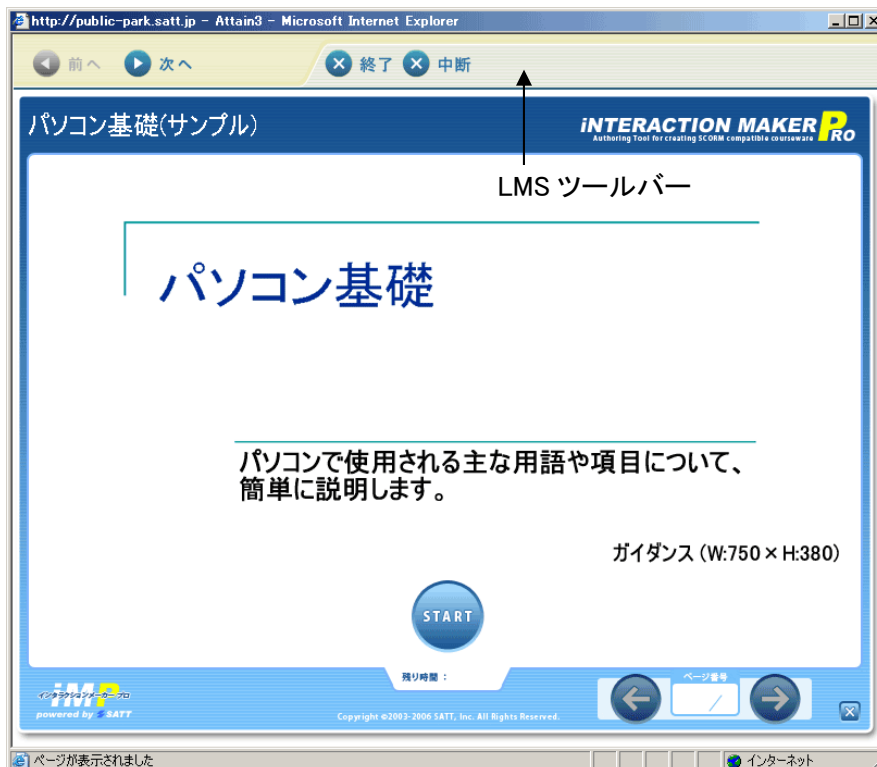
「次へ」: 次の SCO に移動します。

「終了」: SCO を終了します。

「中断」: SCO を終了します。

「中断」ボタンと「終了」ボタンの違いは、マニフェストファイルからインポートした場合のみ発生します。

「中断」の場合、シーケンシングルールの履歴を保持して終了しますが、「終了」の場合、シーケンシングルールの履歴を破棄します。

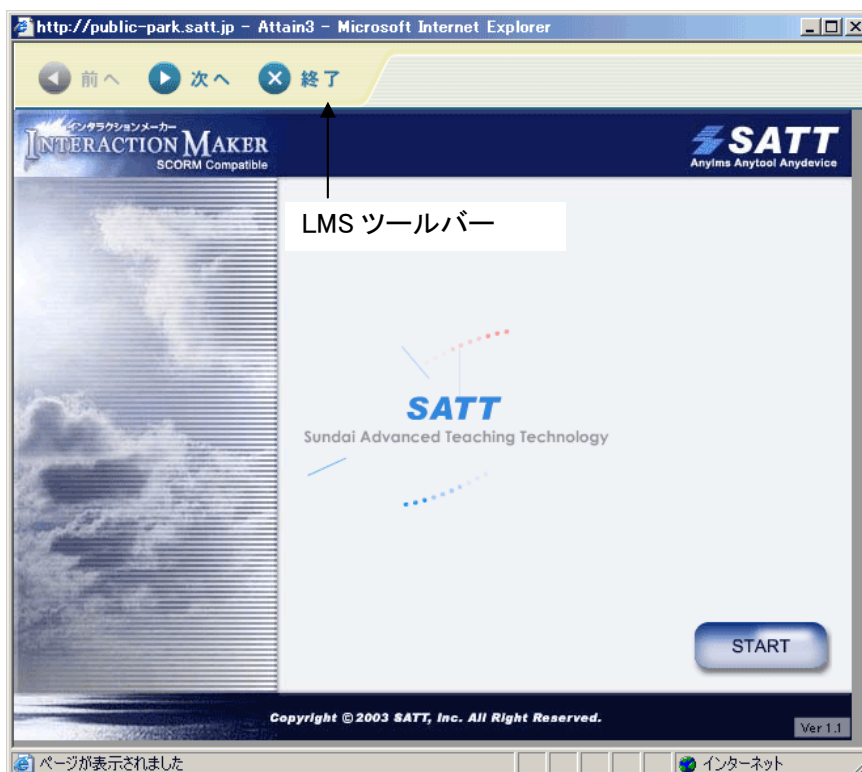


SCORM1.2 教材起動画面

「前へ」: 前の SCO に移動します。

「次へ」: 次の SCO に移動します。

「終了」: SCO を終了します。





3.4 状況レポート

状況レポートとは、受講者が自分の進捗状況を確認するための機能です。

状況レポートを表示するには

- ①レポートを表示したいコースを選択します。
 - ②「状況レポート」ボタンをクリックします。
- 選択したコースのレポートが起動します。

レポート項目	内容
教材名称	コース名、コンテナ名、教材(SCO)名が表示されます。
ステータス	進捗状況が表示されます。 SCORM2004教材の場合、「コンプリーションステータス」(修了か学習中か)と、「サクセスステータス」(合格か不合格か)に分かれて表示されます。
学習回数	教材(SCO)を起動した回数が表示されます。 コース、コンテナでの表示は、格納している教材(SCO)の合計数です。
スコア	各教材の得点が表示されます。 コース、コンテナでの表示は、格納している教材(SCO)の平均点です。
累計時間	各教材の累計学習時間が表示されます。 コース、コンテナでの表示は、格納している教材(SCO)の合計時間です。

SCORM2004 コースの進捗状況レポート

07-07-28 16:12:23 閉じる

進捗状況 コース名称: SATT商品(メーカーズ) SCORM2004

教材名称	コンプリーションステータス	サクセスステータス	学習回数	スコア	累計時間
SATT商品(メーカーズ) SCORM2004	■	■	4	130	0000:00:00
インタラクションメーカー PRO	■	■	4	130.0	0000:00:00

ページが表示されました



SCORM1.2 コースの進捗状況レポート

Attain3 進捗管理 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) <http://public-park.satt.jp/attain3v1demo/function/report.cfm> 移動 リンク

Attain3

07-07-28 16:13:24 閉じる

進捗状況 コース名称: SATT商品(メーカーズ) SCORM1.2

教材名称	ステータス	学習回数	スコア	累計時間
SATT商品(メーカーズ) SCORM1.2		7	17	0000:01:18
インタラクシオンメーカー		2	50.0	0000:01:07
用語集メーカー		3	0.0	0000:00:00
研修メーカー		2	0.0	0000:00:11

ページが表示されました

インターネット



3.5 ログアウト

ログアウトするには

- ①ナビゲーションエリアの「ログアウト」ボタンをクリックします。
- ②「ログアウトしてよろしいですか」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。
ログイン画面が表示されます。

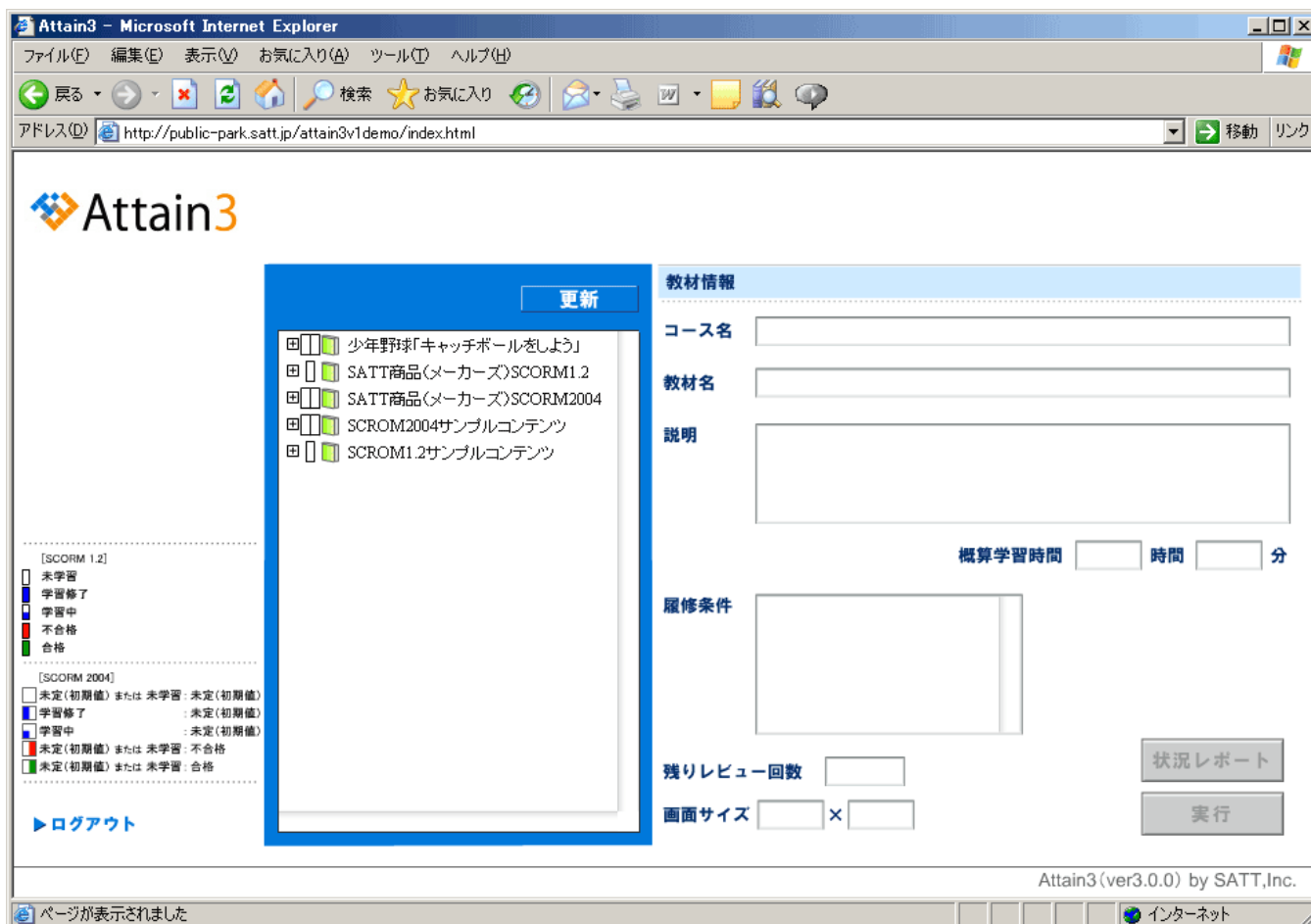


図 3.5 ログアウト



4. 管理者の操作

4.1 管理者ができること

管理者は以下の操作を行うことができます。

- Quick mode 配信管理、進捗管理を視覚的に行う
- 配信管理 > 教材の割り当て(教材を受講者に割り当て学習を可能にする)
- 進捗管理 > レポート作成(学習履歴の作成)
- 受講者管理 > 受講者の登録・確認・編集、グループの編集
- 教材管理 > 教材の登録・確認・編集、コースのインポート
- 環境設定
- 受講者のログオフ
- ログアウト



4.2 Quick modeの使い方

4.2.1 Quick modeとは

「Quick mode」画面は、管理者でログインした時、最初に表示される画面です。縦に登録されているコース、横に登録されている受講者が表示されます。以下の内容を実施します。

- 受講者のコース受講状況の確認
- 受講者に対しコースの割り当て(登録)、削除

(受講者の登録については 4.5.1 受講者の登録・確認・編集を、コースの登録については 4.7.1 教材の登録・確認・編集をご参照ください)

「Quick mode」画面を表示したいときは、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすれば表示されます。

The screenshot shows the Attain3 Quick mode interface. The browser window title is "Attain3 - Microsoft Internet Explorer" and the address bar shows "http://public-park.satt.jp/attain3v1demo/index.html". The main content area features the Attain3 logo and a navigation menu on the left. A red box highlights the "Quick mode" button in the menu. The main area displays a table with columns for course names and student names, and rows for course enrollment status. The status is indicated by colored circles: white for "未学習" (Not learned), blue for "学習終了" (Completed), red for "不合格" (Failed), and green for "合格" (Passed). The table shows enrollment for courses like "少年野球「キャッチボールしよう」" and "SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2" for students like "安西 誠" and "大野 さと".

図 4. 2. 1 Quick mode 画面



4.2.2 Quick mode画面の説明

縦軸にはコース一覧が横軸には受講者一覧が表示されます。
 受講者一覧は名前(名前で検索)とグループ(グループで検索)で絞り込むことができます。

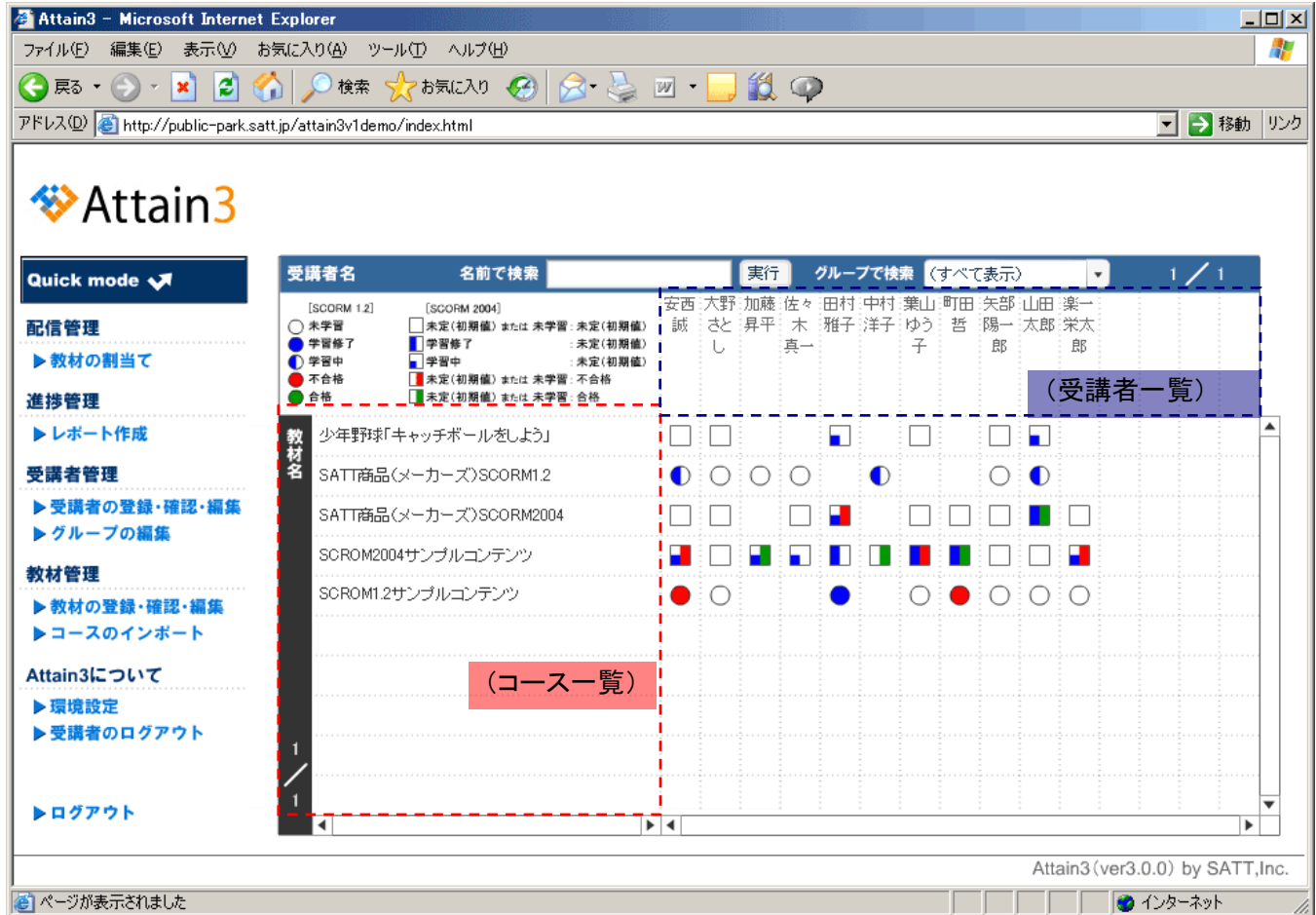


図 4. 2. 2 Quick mode 画面



セル内のアイコンは次のような進捗状況を表します。SCORM2004とSCORM1.2では表示形式が異なります。これは、SCORM2004では修了/未修了(コンプリーションステータス)と合格/不合格(サクセスステータス)を分けて管理しているためです。


SCORM バージョン	アイコン	進捗状況
共通	(空白)	教材未割り当て(注)
SCORM1.2		未定(初期値)または未学習
		学習中
		学習修了
		合格
		不合格
SCORM2004		未定(初期値)または未学習
		学習中
		学習修了
		未定(初期値)または未学習 + 合格
		未定(初期値)または未学習 + 不合格
		学習中 + 合格
		学習中 + 不合格
		学習修了 + 合格
		学習修了 + 不合格

(注)割り当てとは受講者が教材を学習できる状態にすることです。

4.2.3 受講者へのコース割り当てと解除①: 1名に1つのコース

コースを割り当てるには

- ①割り当てたい受講者とコースが交差しているセルをクリックします。
※既にアイコンの表示されている箇所は割り当て済みなので、空白のセルをクリックします。
- ②「登録しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
割り当てが完了すると、クリックしたセルに「□」(SCORM2004)または「○」(SCORM1.2)が表示されます。



The screenshot shows the Attain3 Quick mode interface in a Microsoft Internet Explorer browser window. The main area displays a table for assigning courses to students. The table has columns for student names and rows for course materials. A red box highlights the cell for the student '加藤 真一' (Kato Shinichi) and the course 'SCORM1.2サンプルコンテンツ' (SCORM1.2 Sample Content). An arrow points to this cell with the text '受講者とコースの交差しているセルをクリック' (Click the cell where the student and course intersect).

受講者名	安西 誠	大野 さと	加藤 昇平	佐々木 真一	田村 雅子	中村 洋子	葉山 ゆう子	町田 哲	矢部 陽一	山田 太郎	奥一 栄太郎
少年野球「キャッチボールしよう」	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SATT商品(メーカーズ)SCORM2004	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
SCORM2004サンプルコンテンツ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
SCORM1.2サンプルコンテンツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

図 4. 2. 3. 1 Quick mode 画面(教材の割り当て)



受講者へのコース割り当てを解除するには

- ① 割り当てを解除したい受講者とコースが交差しているセル(アイコン)をクリックします。
※空白のセルは登録されていないので、アイコンのある場所をクリックします。
- ② 「削除」、「キャンセル」が表示されるので、「削除」をクリックします。
割り当て解除が完了すると、クリックしたセルにあったアイコンが削除されます。割り当てを解除すると、それまでの進捗状況もすべて削除されますので、ご注意ください。

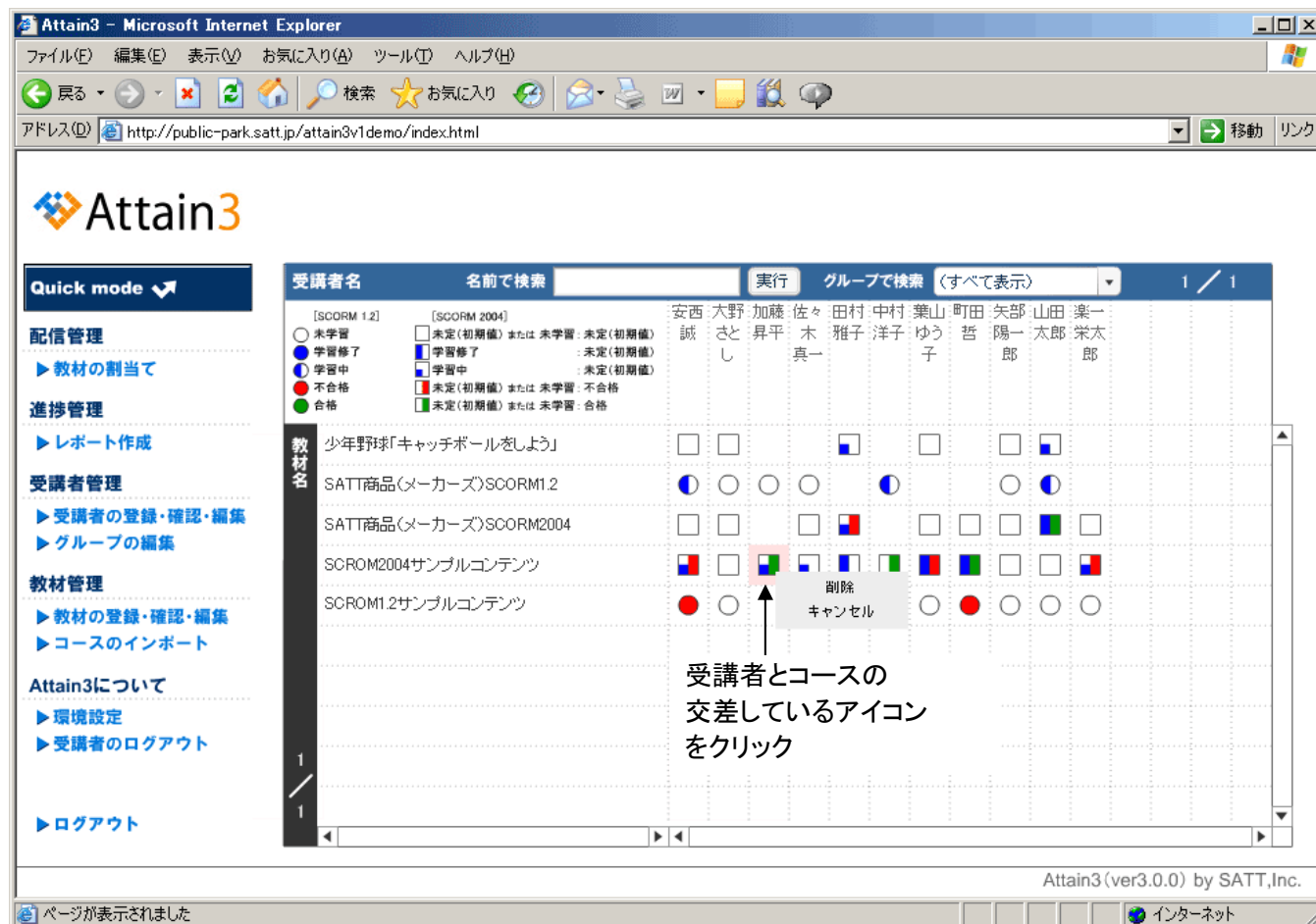


図 4. 2. 3. 2 Quick mode 画面(教材の割り当て解除)

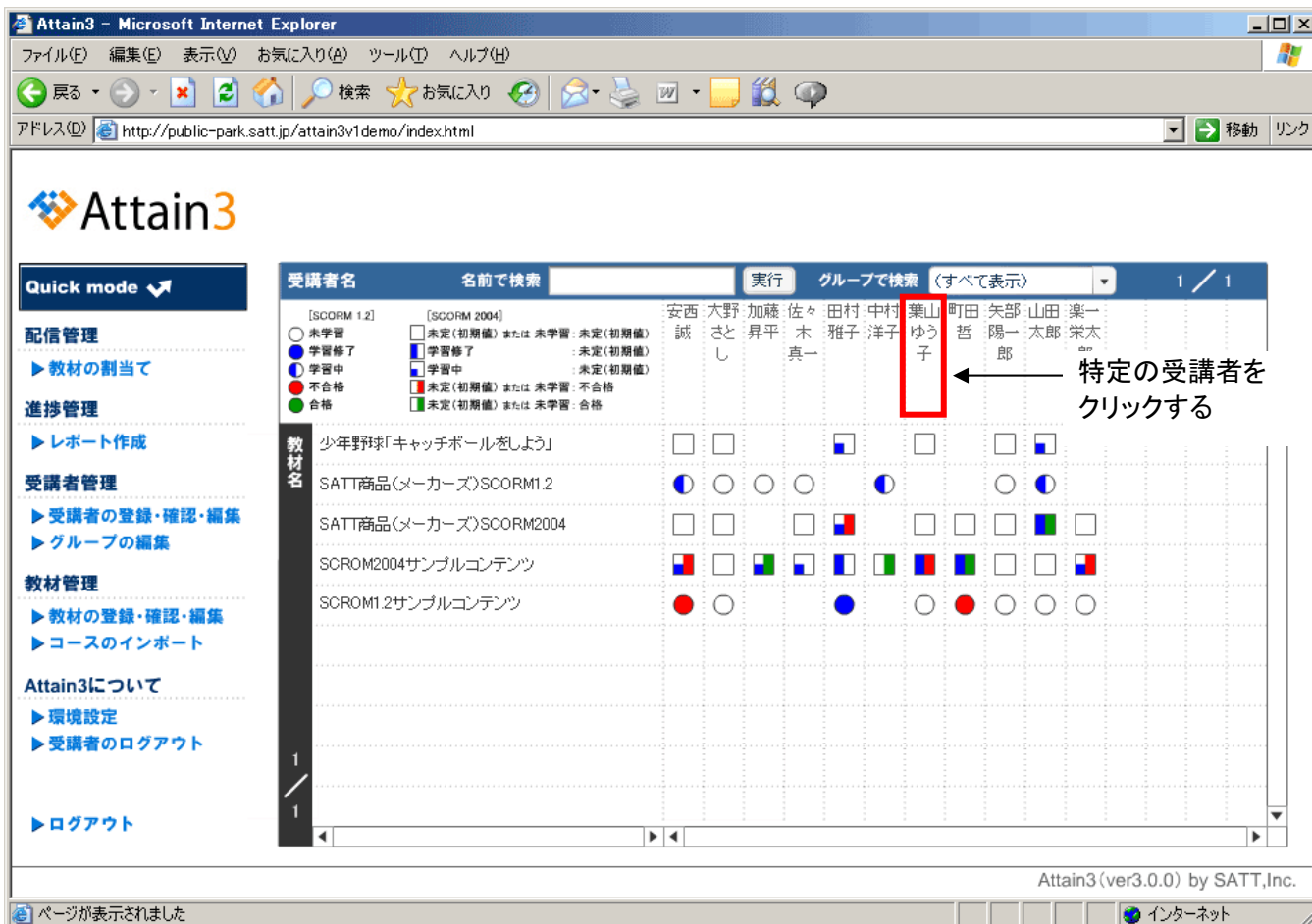
4.2.4 受講者へのコース割り当てと解除②:1名に複数(すべて)のコース

コースを複数割り当てるには

- ①割り当てたい受講者をクリックします。
- ②「登録・削除しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「登録」ボタンをクリックします。
クリックした受講者に対して、現在登録されているすべてのコースが割り当てられます。既に登録されていたコースの学習履歴は、そのまま残ります。

すべてのコース割り当てを解除するには

- ①コースを解除したい受講者をクリックします。
- ②「登録・削除しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「削除」ボタンをクリックします。
クリックした受講者に対して、現在登録されているすべてのコースが削除されます。登録されていたコースの学習履歴は、すべて削除されるのでご注意ください。



The screenshot shows the Attain3 web application interface. The main content area displays a grid for course assignment. The columns represent learners, and the rows represent courses. The learner '葉山 けい子' (Hayama Keiko) is highlighted with a red box. An arrow points to this name with the text '特定の受講者をクリックする' (Click the specific learner). The grid shows various course assignments for different learners, with colored circles indicating the status of each assignment.

受講者名	安西 誠	大野 さとし	加藤 昇平	佐々木 真一	田村 雅子	中村 洋子	葉山 けい子	町田 哲	矢部 陽一	山田 太郎	柴田 栄太
少年野球「キャッチボールをしよう」	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SATT商品(メーカーズ)SCORM2004	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SCROM2004サンプルコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SCROM1.2サンプルコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図 4. 2. 4. 受講者名をクリック



4.2.5 受講者へのコース割り当てと解除③: 複数名(全受講者)に1つのコース

すべての受講者に1つのコースを割り当てるには

- ①割り当てたいコースをクリックします。
- ②「登録・削除しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「登録」ボタンをクリックします。クリックしたコースが、現在登録されているすべての受講者に対して割り当てられます。既に登録されていたコースの学習履歴は、そのまま残ります。

すべての受講者に対するコース割り当てを解除するには

- ①コースを解除したいコースをクリックします。
- ②「登録・削除しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「削除」ボタンをクリックします。クリックしたコースに対して、現在登録されているすべての受講者が削除されます。登録されていたコースの学習履歴は、すべて削除されるのでご注意ください。

The screenshot shows the Attain3 web application interface. The main content area displays a table for course assignment. The table has columns for course names and individual students. The course 'SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2' is highlighted with a red box, and an arrow points to it with the text '特定のコース名をクリックする'.

教材名	安西誠	大野さとし	加藤昇平	佐々木真一	田村雅子	中村洋子	薬山ゆう子	町田哲	矢部陽一	山田太郎	楽一栄太郎
少年野球「キャッチボールしよう」	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SATT商品(メーカーズ)SCORM2004	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SCORM2004サンプルコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SCORM1.2サンプルコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図 4. 2. 5 教材名をクリック

4.3 配信管理 > 教材の割り当て

4.3.1 教材の割り当て

教材の割り当てとは受講者が登録済の教材を学習できるようにすることです。受講者、教材を登録しても、教材の割り当てを実行しないと受講者は学習できません。

ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると、「教材の割り当て」画面が表示されます。

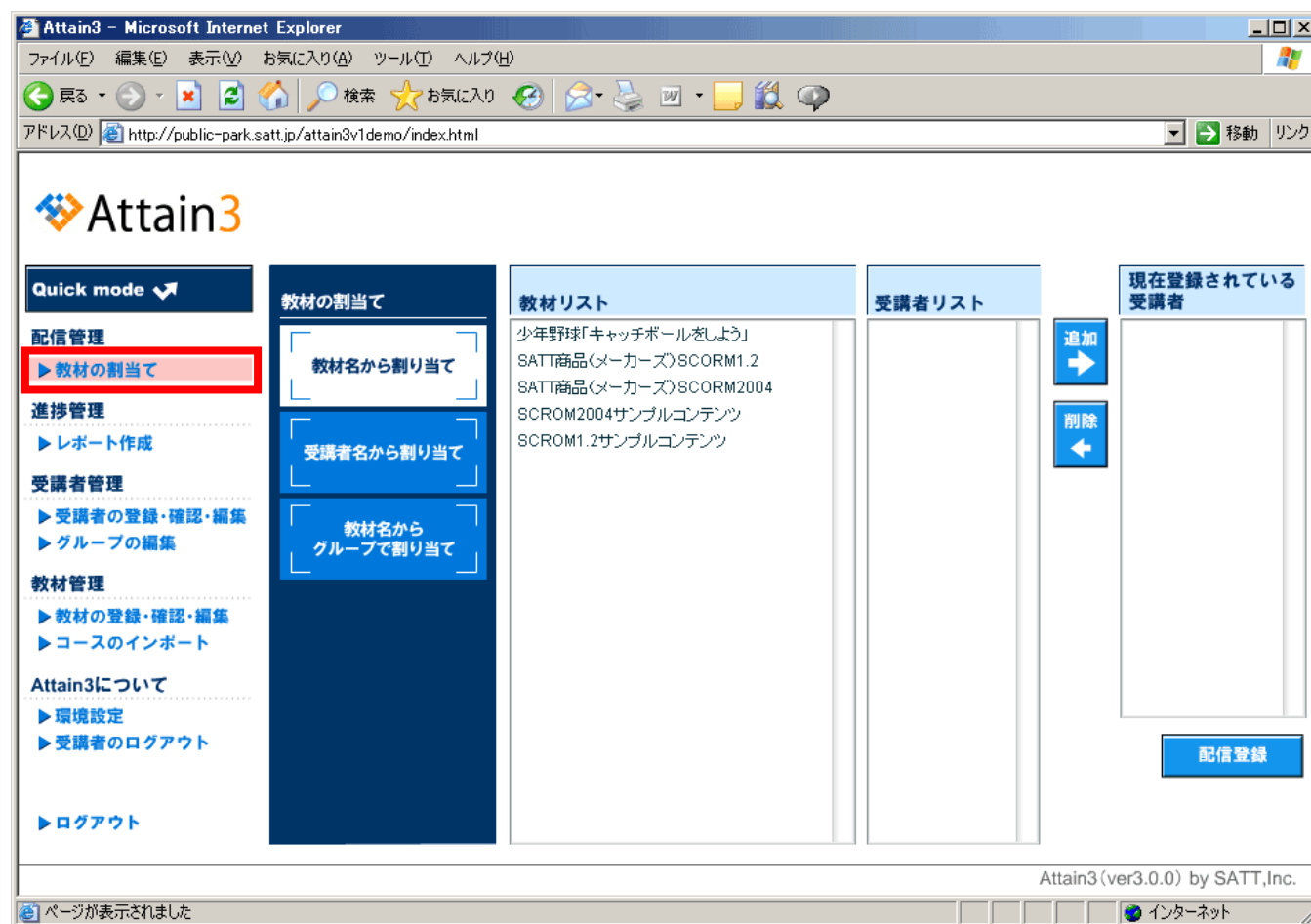


図 4. 3. 1 教材の割り当て

受講者に教材を割り当てる(または解除する)には、次の3つの方法があります。

- 教材名から割り当て 教材を一人または複数の受講者に割り当てる、または割り当てを解除する
- 受講者名から割り当て 受講者に一つもしくは複数のコースを割り当てる、または割り当てを解除する
- グループ単位で割り当て 教材をグループ(グループについては 4.6.1 グループの編集をご参照ください)の受講者すべてに割り当てる、または割り当てを解除する

なお、割り当て解除を行うと、受講者の学習履歴情報も同時に削除されてしまいますので、操作には十分な注意が必要です。

4.3.2 教材名から割り当て

特定の教材に、受講者を割り当てる場合に使用します。

「教材名から割り当て」を選択すると、「教材リスト」に登録されているコース一覧が表示されます。

「教材リスト」のコースを選択すると、「現在登録されている受講者リスト」に割り当て済みの受講者が表示され、「受講者リスト」に未割り当ての受講者が表示されます。

教材に受講者を割り当てるには

- ①画面左の「教材名から割り当て」をクリックまたは選択されていることを確認します。
- ②「教材リスト」のコースを選択します。
- ③「受講者リスト」から教材割り当てをする受講者を選択します。
※「Shift」キーを押して複数選択可能です
- ④「追加」ボタンをクリックします。
- ⑤選択した受講者が「現在登録されている受講者」に移ります。
- ⑥「配信登録」ボタンをクリックします。
- ⑦「更新しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックすると、
選択した受講者への割り当てが完了します。
- ⑧「受講者登録を更新しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

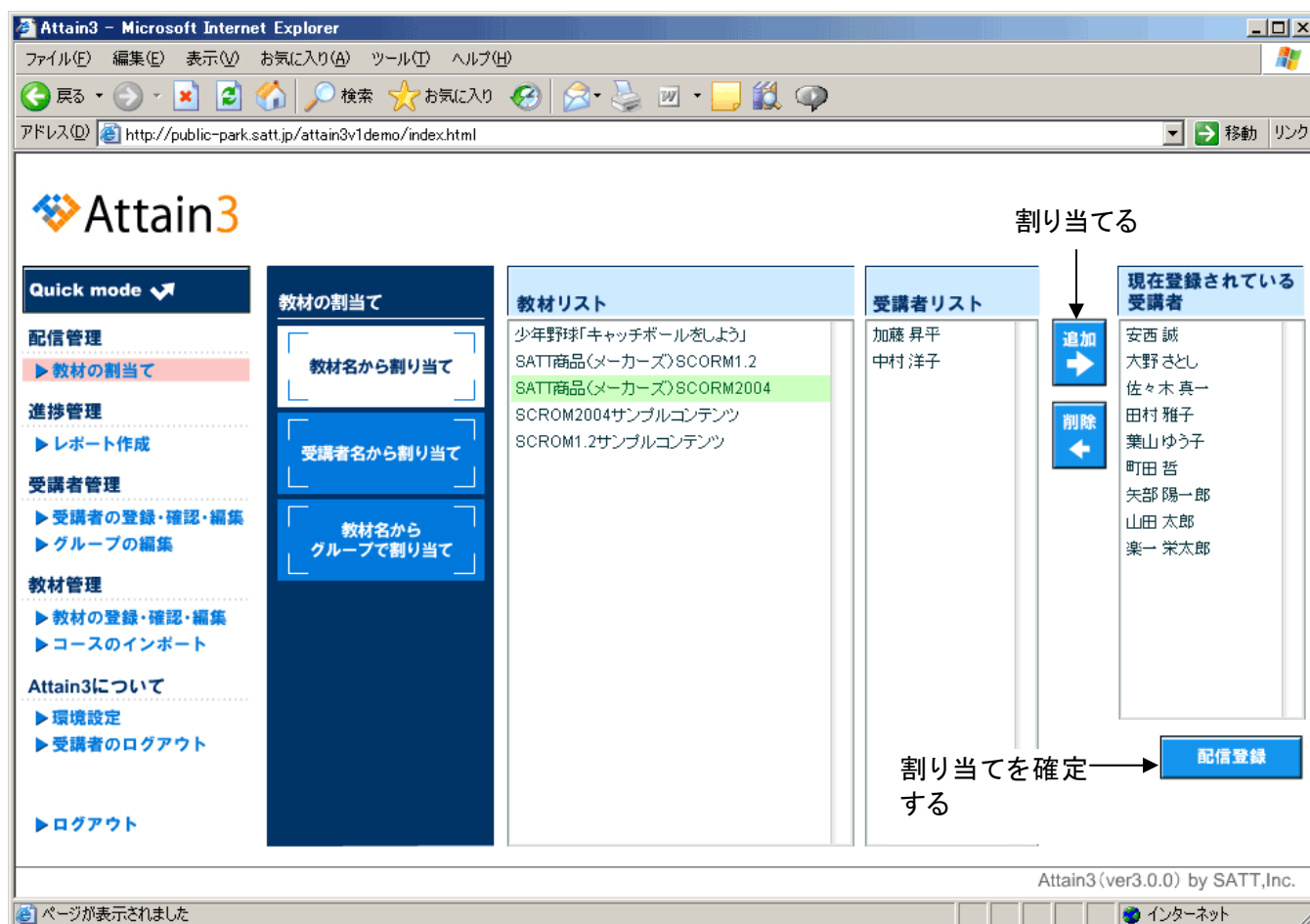


図 4.3.2.1 教材の割り当て > 教材名から割り当て



割り当て済の受講者の割り当て解除は、次のステップとなります。

割り当てた受講者を解除するには

- ①画面左の「教材名から割り当て」をクリックまたは選択されていることを確認します。
 - ②「教材リスト」のコースを選択します。
 - ③「現在登録されている受講者リスト」から受講者を選択します。
※「Shift」キーを押して複数選択可能です
 - ④「削除」ボタンをクリックします。
 - ⑤選択した受講者が「受講者リスト」に移ります。
 - ⑥「配信登録」ボタンをクリックします。
 - ⑦「更新しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックすると、
選択した受講者へのコース解除が完了します。
 - ⑧「受講者登録を更新しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンを
クリックします。
- 割り当てを解除した場合、受講者の学習履歴情報も削除されますのでご注意ください。

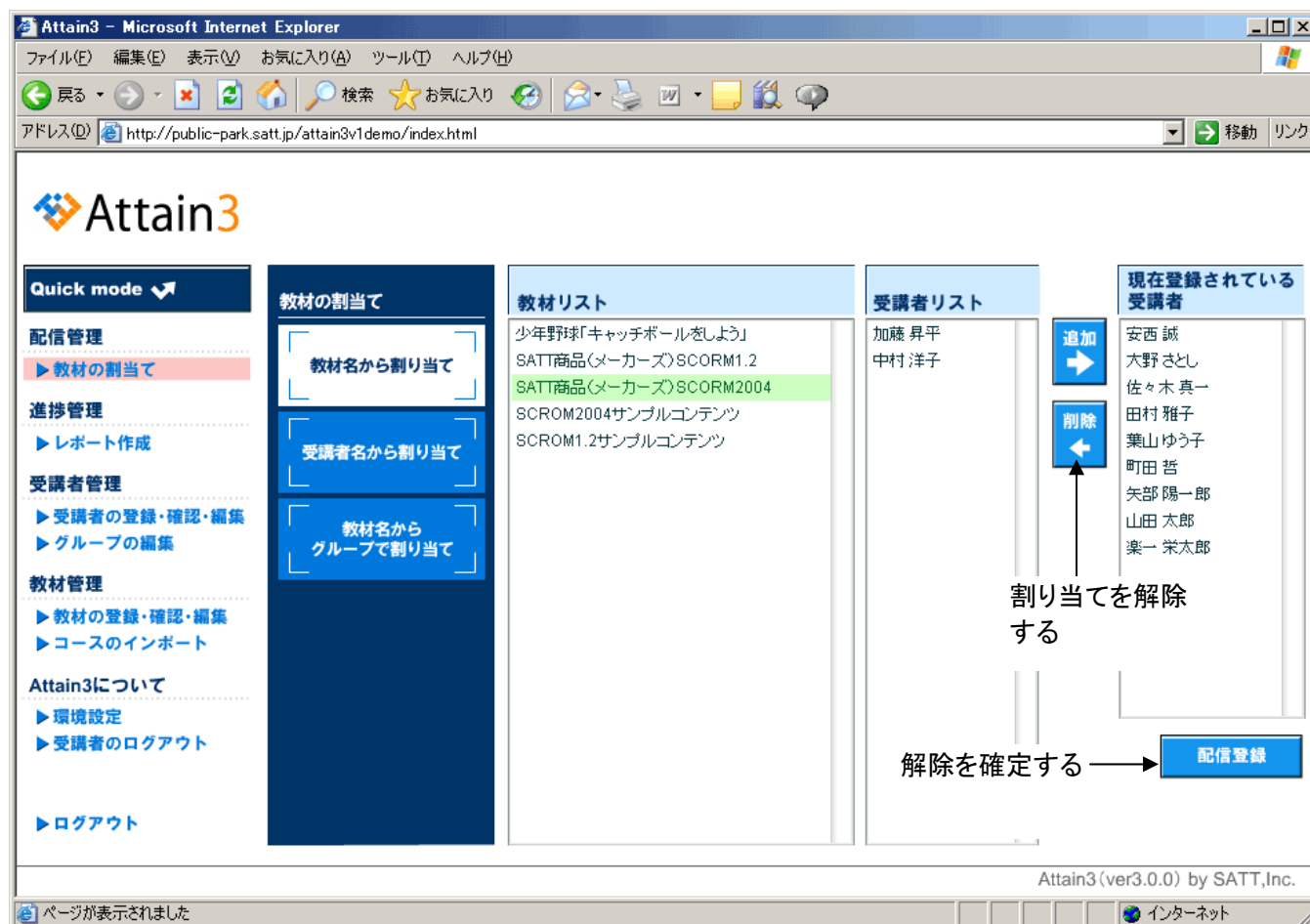


図 4.3.2.2 教材の割り当て > 教材名から割り当て解除

4.3.3 受講者名から割り当て

特定の受講者に、コースを割り当てる場合に使用します。

「受講者名から割り当て」をクリックすると、「受講者リスト」に受講者一覧が表示されます。「受講者リスト」の受講者を選択すると、「教材リスト」に選択した受講者の未割り当てコースが、「現在登録されている教材」リストに割り当て済みのコースが表示されます。

選択した受講者に教材を割り当てる操作

- ①画面左の「受講者名から割り当て」をクリックします。
- ②「受講者リスト」の受講者を選択します。
- ③「教材リスト」から教材割り当てをするコースを選択します。
※「Shift」キーを押して複数選択可能です
- ④「追加」ボタンをクリックします。
- ⑤選択したコースが「現在登録されている教材」に移ります。
- ⑥「配信登録」ボタンをクリックします。
- ⑦「更新しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックすると、
選択したコースの受講者への割り当てが完了します。
- ⑧「受講者登録を更新しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



図 4. 3. 3. 1 教材の割り当て > 受講者名から割り当て

教材の割り当てを解除する操作

- ①画面左の「受講者名から割り当て」をクリックします。
- ②「受講者リスト」のコースを選択します。
- ③「現在登録されている教材」リストから割り当て解除を行うコースを選択します。
※「Shift」キーを押して複数選択可能です
- ④「削除」ボタンをクリックします。
- ⑤選択したコースが「教材リスト」に移ります。
- ⑥「配信登録」ボタンをクリックします。
- ⑦「更新しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックすると、受講者のコース解除が完了します。
- ⑧「受講者登録を更新しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

受講者へのコース割り当てを解除した場合、受講者の学習履歴情報も削除されますのでご注意ください。

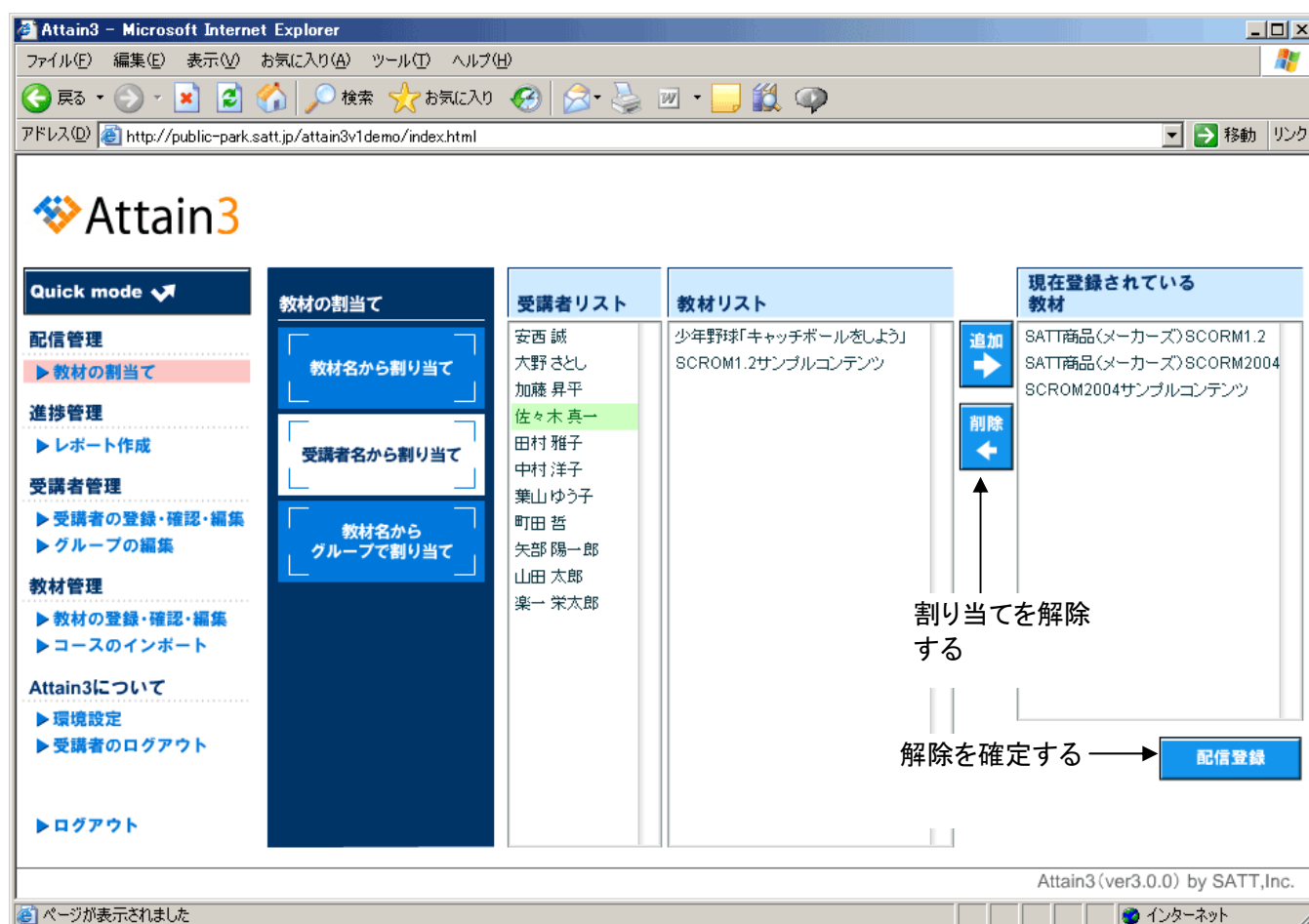


図 4. 3. 3. 2 教材の割り当て > 受講者名から割り当て解除



4.3.4 教材名からグループ単位で割り当て

特定のコースをグループに所属する人全員に割り当てる場合に、使用します。

選択した教材にグループの受講者を割り当てるには

- ①画面左の「教材名からグループで割り当て」をクリックします。
- ②「教材リスト」の教材を選択します。
- ③「グループリスト」のグループを選択します。
※複数選択はできません。
- ④「配信登録」ボタンをクリックします。
- ⑤「登録しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックすると、
選択した教材のグループへの割り当てが完了します。
- ⑥「受講者登録を更新しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンを
クリックします。

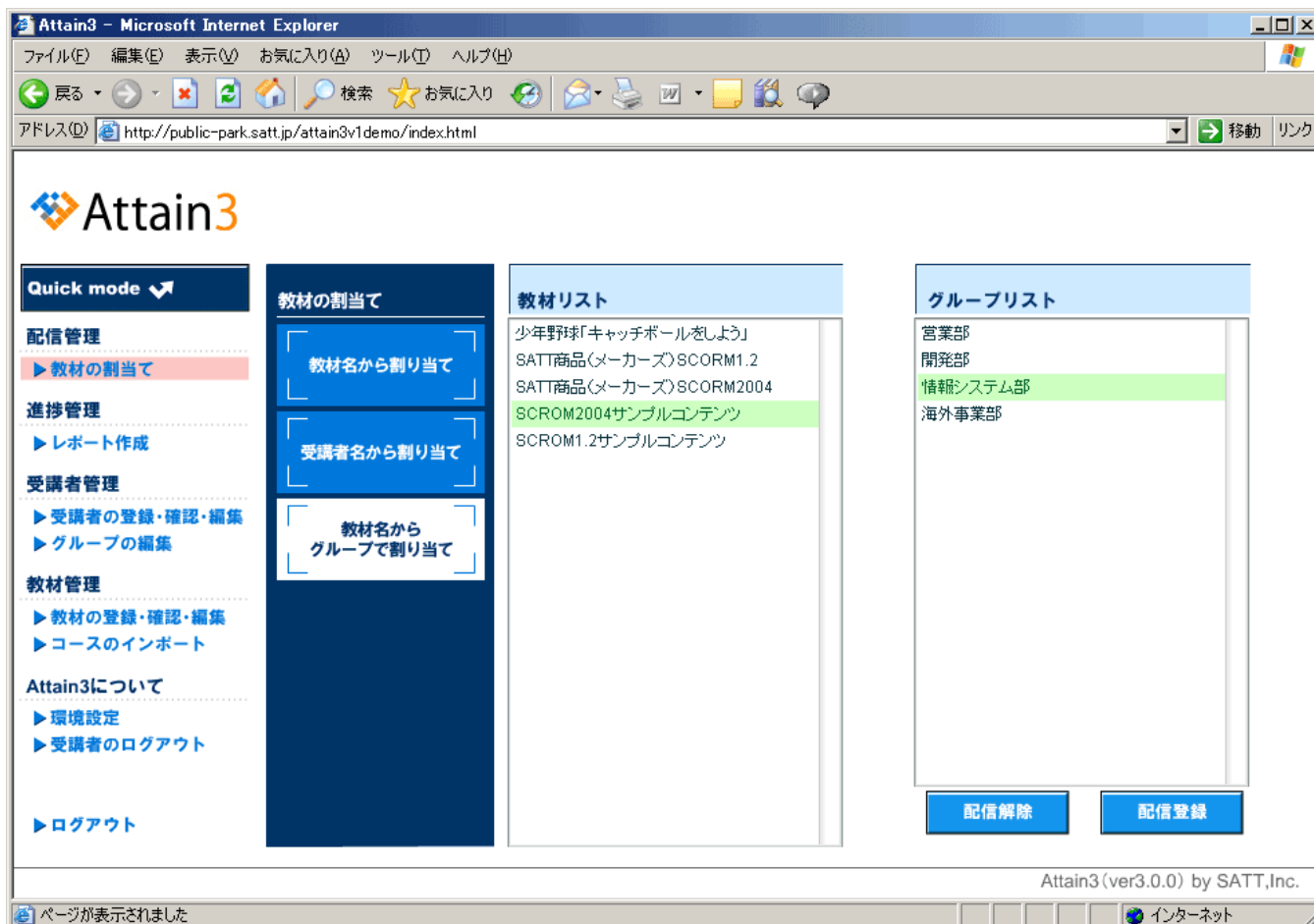


図 4. 3. 4. 1 教材名からグループで割り当て

割り当て済のグループの割り当て解除は、次のステップとなります。



選択した教材にグループの受講者を割り当て解除するには

- ①画面左の「教材名からグループで割り当て」をクリックします。
- ②「教材リスト」の教材を選択します。
- ③「グループリスト」のグループを選択します。
※複数選択はできません。
- ④「配信解除」ボタンをクリックします。
- ⑤「登録を解除しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックすると、
選択した教材のグループへの割り当てが解除されます。
- ⑥「受講者登録を更新しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

配信解除を実行すると、解除した受講者の学習履歴も削除されますので、ご注意願います。

この画面ではグループにどの受講者が登録されているか、またはどの受講者にどのコースが割り当てられているかは表示されません。この登録解除を行う前に、どのグループにどの受講者が登録されているのか、また学習履歴につきましてご確認のうえ、実行してください。

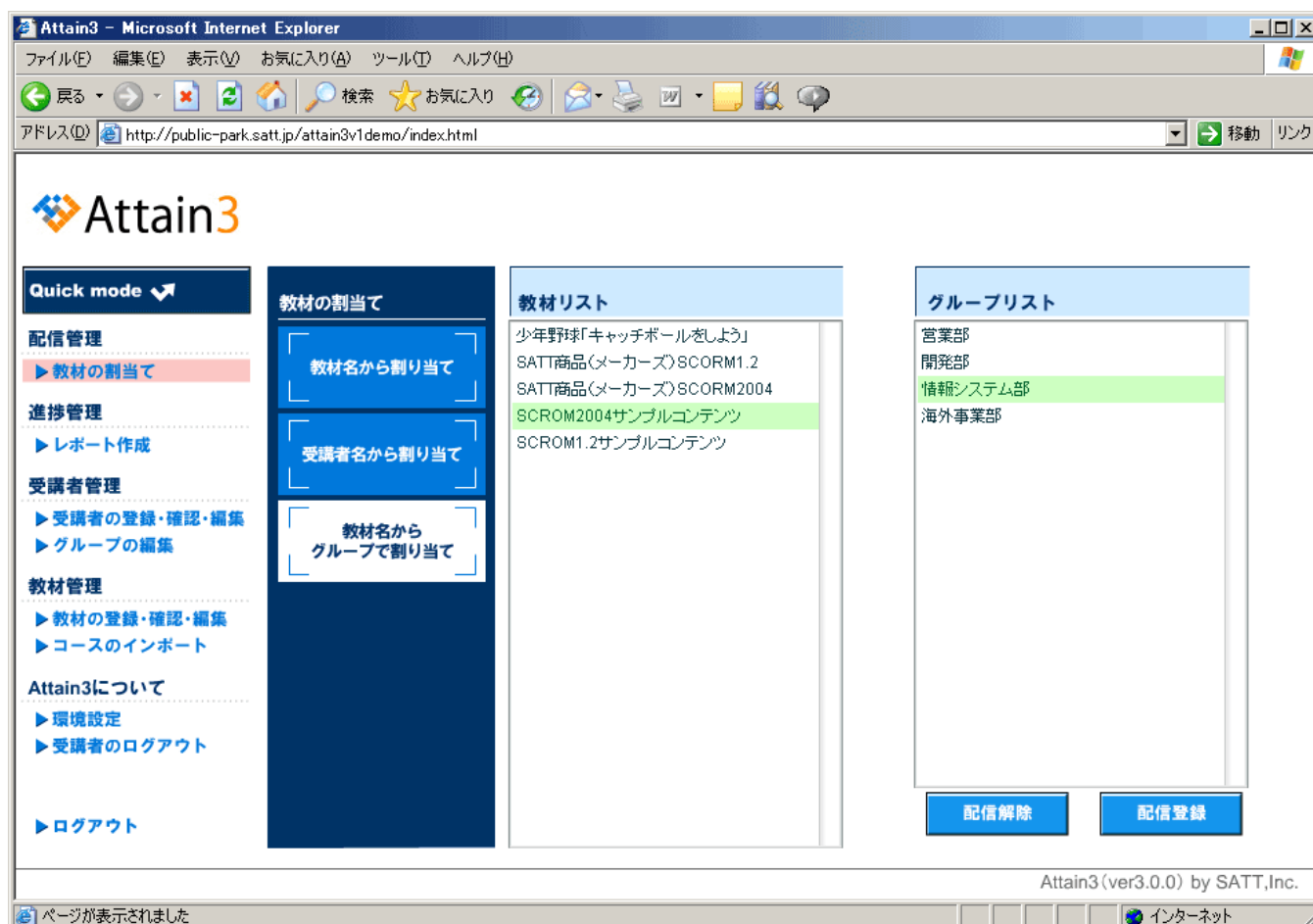


図 4. 3. 4. 2 教材名からグループで割り当て解除



4.4 進捗管理 > レポート作成

4.4.1 レポート作成とは

「レポート作成」は、学習進捗状況を出力、表示する機能です。標準で「ITEMS」、「コース単位」、「受講者単位」の3つの形式のレポートを出力することができ、さらに別途2つまでユーザー独自の形式のレポート(注)を追加作成できます。

「レポート作成」画面は、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると表示されます。



図 4.4.1 進捗管理 > 「レポート作成」

標準形式のレポート内容は次の通りです。

レポート名	レポート内容
ITEMS	受講者の教材(SCO)に対する解答状況(解答毎の解答内容、正誤判定、解答時間等)を表示します。
コース単位	教材単位での受講者の学習状況を表示します。学習状況の内容としては受講者名、教材(コース、コンテナ、SCO いずれのレベルも選択可能)、学習回数、スコア(理解度テストがある教材の得点結果)、学習時間(複数回の学習を行った場合は累計時間)を表示します。
受講者単位	受講者毎の学習状況を表示します。学習状況の内容はコース単位と同じです。



(注)

レポートの追加は、原則お客様の責任による開発です。レポート追加の詳細方法につきましては Attain3 開発者トレーニングで受講できます。なお、ご要望があれば、カスタマイズとしてSATTがお客様に代わってレポートを開発いたします。

4.4.2 レポート作成 > 「ITEMS」

テストタイプの教材(SCO)について受講者が解答した内容を個人単位にレポートとして出力します。また、対象受講者全員の解答した内容を1つのCSV形式で表示できます。

レポート作成「ITEMS」の操作

- ①画面左の「ITEMS」をクリック、または選択されていることを確認します。
- ②コースリストから教材(コース、コンテナ、SCO)を選択します。
※コースリストの教材の表示は受講者画面の教材一覧と同じです。
- ③「受講者リスト」からレポート出力したい受講者を選択します。
※「Shift」キー、「Ctrl」キーを押して複数選択可能です。
- ④「レポート作成」ボタンをクリックします。

「ITEMS」レポートの内容(ユーザーインタラクションの詳細)が表示されます。レポート内容は個人ごとに表示されます。

DBの設定で、「受講者リスト」を「グループリスト」にすることが可能です。

The screenshot shows the Attain3 web application interface. The browser window title is "Attain3 - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows "http://public-park.satt.jp/attain3v1demo/index.html". The main content area is divided into several sections:

- Quick mode**: A sidebar menu with options like "教材の割当て", "レポート作成", "受講者管理", "教材管理", and "ログアウト".
- レポート作成**: A central panel with a large "ITEMS" button and other options like "コース単位" and "受講者単位".
- コースリスト**: A list of courses with checkboxes, including "少年野球「キャッチボールしよう」", "SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2", "SATT商品(メーカーズ)SCORM2004", "SCROM2004サンプルコンテンツ", "SCROM1.2サンプルコンテンツ", and "ビジネスマナー".
- 受講者リスト**: A list of names with checkboxes, including "安西 誠", "大野 さとし", "加藤 昇平", "佐々木 真一", "田村 雅子", "中村 洋子", "葉山 ゆう子", "町田 哲", "矢部 陽一郎", "山田 太郎", and "楽一 栄太郎".
- 確認**: A section for confirming the course and recipient list, showing "SATT商品(メーカーズ)SCORM2004" and a list of recipients: "山田 太郎", "田村 雅子", "安西 誠", and "大野 さとし".

A "レポート作成" button is located at the bottom right of the main content area. The footer of the page reads "Attain3 (ver3.0.0) by SATT, Inc." and "インターネット".

図 4. 4. 2. 1 レポート作成 > 「ITEMS」



表示されるレポート画面の形式は次の通りです。

「ITEMS」は、学習教材より渡された解答情報はすべて累積されます。

同じ学習教材を複数実行した場合、解答日付／解答時刻(出力表示は解答時間)毎に解答情報が表示されます。

コース名	インタラクション ID	インタラクションタイプ	正答	解答	判定	反応時間	解答日付	解答時間
imPro_test								
impro090605	q001	choice	1	1	correct	00:00:02	2010/05/26	11:06:01
impro090605	q002	choice	2	2	correct	00:00:04	2010/05/26	11:06:04
impro090605	q003	choice	2	2	correct	00:00:03	2010/05/26	11:06:09

図 4. 4. 2. 2 レポート作成 > 「ITEMS」出力結果

ボタンの説明

ボタン名	ボタン説明
前の受講者	現在表示している受講者の前の受講者を表示します。
次の受講者	現在表示している受講者の次の受講者を表示します。
全データ出力	選択された条件に合致するすべての SCO, 受講者の履歴データを CSV 形式で出力します。

出力項目

出力項目名	出力項目説明
受講者名	該当教材(SCO)の設問を行った受講者氏名
コース名	該当教材のコース名
インタラクション ID	設問の問題番号
インタラクションタイプ	設問のタイプ ※SCORM で規定されているタイプ(後述)を使用できます
正答	設問の正解番号
解答	受講者が解答した答え
判定	受講者の解答の正誤判定
反応時間	受講者が解答に要した時間
解答日付	解答した年月日
解答時間(解答時刻)	解答した時刻(時:分:秒)

設問タイプ(インタラクションタイプ)

SCORM1.2 / 2004 では以下のような設問タイプが規定されています。



タイプ名	タイプ説明
true-false	○、×式の問題。
choice	(多肢選択) 複数の選択肢から1つまたはそれ以上の正解を選択する問題。
fill-in	(穴埋め) 空白の設問欄に受講者が(選択式と異なり) 正解と考えた答え(単語、節、文等)を入力、記述する問題。
matching	(組合せ) 1組あるいは2組の項目の組を有する問題。各組から関連する項目を選び出し組合せることにより解答する問題。
performance	(実行) 多肢選択の問題同様、解答の選択肢が与えられているが受講者は解答するためにドラッグ&ドロップ等のアクションを行う必要がある。
sequencing	(並べ替え) 提示された複数の項目を正しく並べ替える問題。
likert	(アンケート) アンケート式の問題は、受講者に複数の選択肢を提示し受講者の見解、考えに基づき回答する問題。
numeric	(数値) 数字属性(小数点以下はあってもなくても可)が解答として要求される問題。

「全データ出力」ボタンをクリックすると、対象者全員の情報が一度に出力されます。
Excelの「ファイル」-「名前を付けて保存」でCSV形式で保存ができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	2010/6/14 11:52											
2	ユーザインタラクションの詳細											
3	受講者名	コース名	教材名称	インタラクシ	インタラク	正答	解答	判定	反応時間	解答日付	解答時間	
4	山田 太郎	At3履歴チェッ	IM Pro	q001	choice	1	1	correct	0:00:03	2010/6/14	11:50:07	
5	山田 太郎	At3履歴チェッ	IM Pro	q002	choice	2	3	wrong	0:00:04	2010/6/14	11:50:11	
6	山田 太郎	At3履歴チェッ	IM Pro	q003	choice	2	2	correct	0:00:02	2010/6/14	11:50:15	
7	山田 太郎	At3履歴チェッ	IM Pro	q004-1	choice	1	1	correct	0:00:04	2010/6/14	11:50:18	
8	山田 太郎	At3履歴チェッ	IM Pro	q004-2	choice	2	2	correct	0:00:00	2010/6/14	11:50:18	
9	山田 太郎	At3履歴チェッ	IM Pro	q005	choice	3	3	correct	0:00:02	2010/6/14	11:50:22	

図 4. 4. 2. 3 レポート作成 > 「ITEMS」全データ出力 出力結果



4.4.3 レポート作成 > 「コース単位」

選択したコースやコンテナ、教材(SCO)について、受講者のレポートを出力します。

レポート作成「コース単位」の操作

- ①画面左の「コース単位」をクリックします。
 - ②コースリストから教材(コース、コンテナ、SCO)を選択します。
※「Shift」キー、「Ctrl」キーを押して複数選択可能です。
コースのみの選択 コースの進捗のみ表示
コース+コンテナ+教材(SCO) コースと指定されたコンテナ+教材(SCO)を階層的に表示
 - ③「受講者リスト」からレポート出力したい受講者を選択します。
※「Shift」キー、「Ctrl」キーを押して複数選択可能です。
 - ④「レポート作成」ボタンをクリックします。
- 「コース単位」レポートの内容(コース単位での受講者情報)が表示されます。レポート結果はコース別に表示されます。複数コースを条件で指定した場合、「前のコース」ボタン、「次のコース」ボタンが表示されます。
- DBの設定で、「受講者リスト」を「グループリスト」にすることが可能です。

The screenshot shows the Attain3 web application in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows the URL: http://public-park.satt.jp/attain3v1demo/index.html. The application interface is divided into several sections:

- Quick mode:** A dropdown menu.
- Left Navigation Menu:**
 - 配信管理 (Distribution Management)
 - 教材の割当て (Assign Materials)
 - 進捗管理 (Progress Management)
 - レポート作成 (Report Creation) - This is the active section.
 - 受講者管理 (Student Management)
 - 受講者の登録・確認・編集 (Registration, Confirmation, and Editing of Students)
 - グループの編集 (Edit Groups)
 - 教材管理 (Material Management)
 - 教材の登録・確認・編集 (Registration, Confirmation, and Editing of Materials)
 - コースのインポート (Import Courses)
 - Attain3について (About Attain3)
 - 環境設定 (Environment Settings)
 - 受講者のログアウト (Logout of Students)
 - ログアウト (Logout)
- Report Creation Section (Center-Left):**
 - レポート作成 (Report Creation)
 - ITEMS
 - コース単位 (Course Unit) - This is the selected option.
 - 受講者単位 (Student Unit)
- Course List (Center-Right):**
 - 少年野球「キャッチボールをしよう」
 - SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2
 - SATT商品(メーカーズ)SCORM2004
 - SCROM2004サンプルコンテンツ (Selected)
 - SCROM1.2サンプルコンテンツ
 - ビジネスマナー
- Student List (Right):**
 - 安西 誠
 - 大野 さとし
 - 加藤 昇平
 - 佐々木 真一
 - 田村 雅子
 - 中村 洋子
 - 葉山 ゆう子
 - 町田 哲
 - 矢部 陽一郎
 - 山田 太郎
 - 楽一 栄太郎
- Confirmation Panel (Bottom Right):**
 - 確認 (Confirmation)
 - コース・教材 (Course/Material): SCROM2004サンプルコンテンツ
 - 受講者 (Students): 安西 誠, 田村 雅子, 山田 太郎, 加藤 昇平
 - レポート作成 (Report Creation) button

図 4. 4. 3. 1 レポート作成 > 「コース単位」

Attain3

表示されるレポート画面の形式は次の通りです。
「コース単位」レポートの進捗情報は、累積されずに、上書きされます。

Attain3 コース単位での受講者情報

07-07-30 16:12:54

「次のコース」「前のコース」ボタンがない？

全データ出力 チャート出力 閉じる

コース名称 : SCROM2004サンプルコンテンツ

受講者名	教材名称	コンプリーションステータス	サクセスステータス	学習回数	スコア	累計時間
山田 太郎	(コース進捗)	incomplete	passed	2	0	0000:10:19
安西 誠	(コース進捗)	incomplete	failed	4	0	0000:34:43
加藤 昇平	(コース進捗)	incomplete	passed	4	0	0000:05:13
田村 雅子	(コース進捗)	completed	unknown	4	0	0000:16:25
中村 洋子	(コース進捗)	unknown	passed	5	0	0000:22:56
葉山 ゆう子	(コース進捗)	completed	failed	3	0	0000:00:58

図 4. 4. 3. 2 レポート作成 > 「コース単位」 出力結果

ボタンの説明

ボタン名	ボタン説明
前のコース	コースが複数有る場合、現在表示しているコースの前のコースを表示します。
次のコース	コースが複数有る場合、現在表示しているコースの次のコースを表示します。
全データ出力	レポートの出力対象の情報を表示します。 Excel の「ファイル」- 「名前を付けて保存」で、CSV形式の保存ができます。
チャート出力	受講者のステータスを円グラフに出力します。

出力項目

出力項目名	出力項目説明
コース名称	受講者が学習を行ったコース名
受講者名	受講者の氏名
教材名称	受講者が学習を行った教材(SCO)名
ステータス	受講者の学習ステータス(注 後述)
学習回数	受講者が行った学習回数
スコア	受講者の得点
累計時間	受講者の学習総時間



ステータス

SCORM1.2/2004 では以下のようなステータスが規定されています。SCORM2004 では、修了/学習中(コンプリーションステータス)と合格/不合格(サクセスステータス)を分けて管理します。

レポート表示	意味	内容	SCORM2004 種類
unknown	未定	まだ履歴の送信が実行されていません。	
not attempted	未学習	受講者が教材を学習していない状態です。	
incomplete	学習中	受講者が教材を学習中(修了、合格していない)の状態です。	コンプリーションステータス
completed	学習修了	受講者が教材を一通り学習し終えた(合格はしていない)状態です。	コンプリーションステータス
passed	合格	受講者が教材で合格と決められた結果を達成した状態です。	サクセスステータス
failed	不合格	受講者が教材で合格レベルに達しなかった結果の状態です。	サクセスステータス

チャート出力

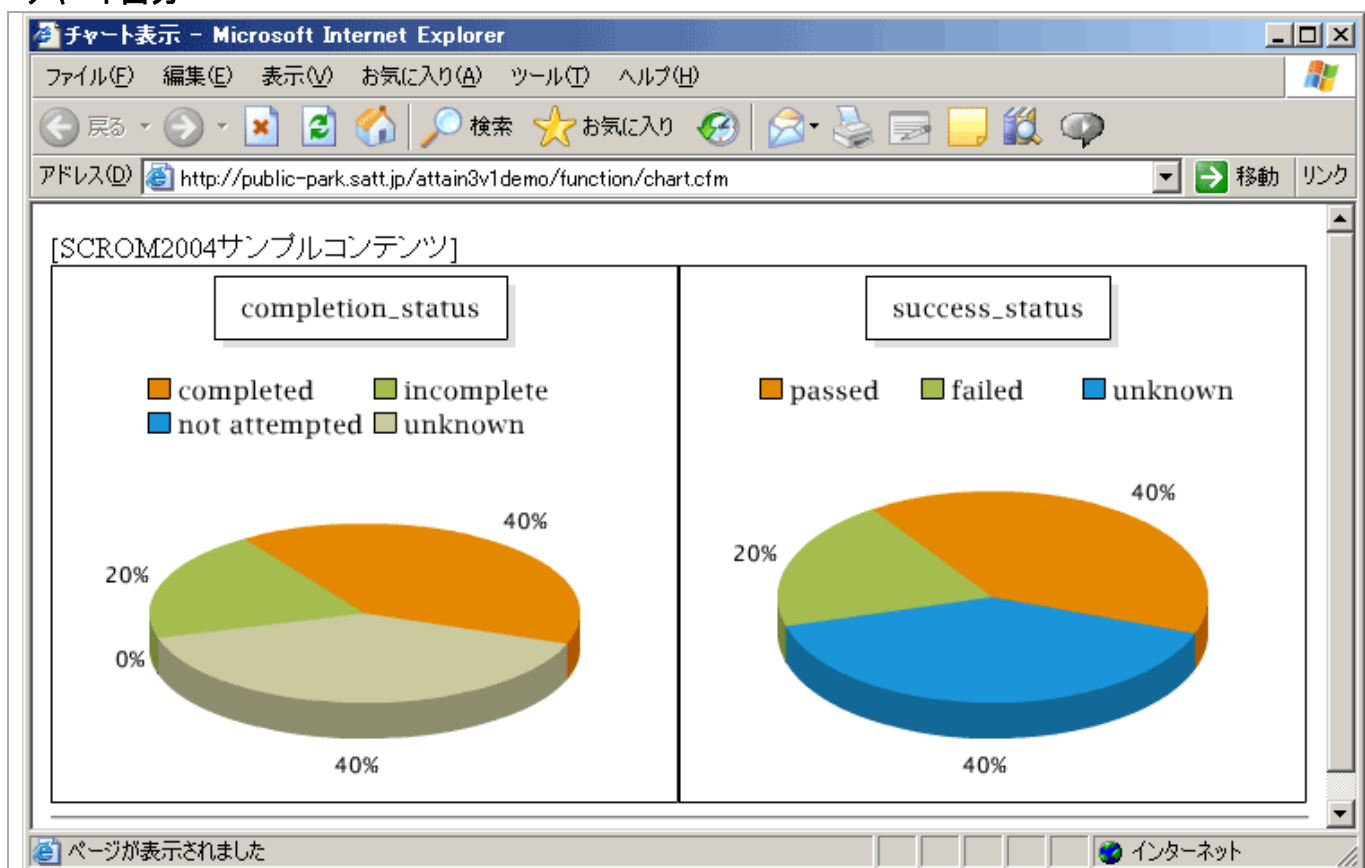


図 4. 4. 3. 3 レポート作成 > 「コース単位」 チャート出力 出力結果

4.4.4 レポート作成画面 > 「受講者単位」

学習教材のコース、コンテナ、教材(SCO)について進捗情報を受講者単位にレポート出力します。また、全対象コースの進捗情報を1つのCSV形式で表示できます。

レポート作成「受講者単位」の操作

- ①画面左の「受講者単位」をクリックします。
- ②コースリストから教材(コース、コンテナ、SCO)を選択します。
※「Shift」キー、「Ctrl」キーを押して複数選択可能です。
コースのみの選択 コースの進捗のみ表示
コース+コンテナ+教材(SCO) コースと指定されたコンテナ+教材(SCO)を階層的に表示
- ③「受講者リスト」からレポート出力したい受講者を選択します。
※「Shift」キー、「Ctrl」キーを押して複数選択可能です。
- ④「レポート作成」ボタンをクリックします。
「受講者単位」レポートの内容(受講者単位でのコース状況)が表示されます。レポート結果は個人別に表示されます。複数受講者を条件で指定した場合、「前の受講者」ボタン、「次の受講者」ボタンが表示されます。



The screenshot shows the Attain3 web application interface in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows the URL: <http://public-park.satt.jp/attain3v1demo/index.html>. The main content area is divided into several sections:

- Quick mode** (top left): A dropdown menu.
- レポート作成** (left sidebar): A vertical menu with buttons for 'ITEMS', 'コース単位', '受講者単位', and other options.
- コースリスト** (middle left): A list of courses and materials, including '少年野球「キャッチボールしよう」', 'SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2', 'SATT商品(メーカーズ)SCORM2004', 'SCROM2004サンプルコンテンツ', 'SCROM1.2サンプルコンテンツ', and 'ビジネスマナー'.
- 受講者リスト** (middle right): A list of learners, including '安西 誠', '大野 さとし', '加藤 具平', '佐々木 真一', '田村 雅子', '中村 洋子', '葉山 ゆう子', '町田 哲', '矢部 陽一郎', '山田 太郎', and '楽一 栄太郎'.
- 確認** (right sidebar): A section for 'コース・教材' (Course/Material) and '受講者' (Learner). The 'コース・教材' section shows 'インタラクショナルメーカー PRO' with 'Page1' and 'Page2'. The '受講者' section shows '安西 誠', '佐々木 真一', and '山田 太郎'. A 'レポート作成' (Report Creation) button is located at the bottom of this section.

The footer of the page indicates 'Attain3 (ver3.0.0) by SATT, Inc.' and the status bar shows 'ページが表示されました' (Page displayed) and 'インターネット' (Internet).

図 4. 4. 4. 1 レポート作成 > 「受講者単位」

表示されるレポート画面の形式は次の通りです。



同じ学習教材を複数実行した場合、受講者単位の進捗情報は上書きされます。

Attain3 進捗管理 - Microsoft Internet Explorer

アドレス: http://public-park.satt.jp/attain3v1demo/function/prog_m2.cfm

Attain3 受講者単位でのコース状況

07-07-30 16:19:42

←前の受講者 全データ出力 チャート出力 閉じる

受講者名 : 山田 太郎

コース名	コンプリーションステータス	サクセスステータス	学習回数	スコア	累計時間
SATT商品 (メーカーズ) SCORM2004					
☐ インタラクションメーカー PRO	completed	passed	4	130	0000:00:00
SATT商品 (メーカーズ) SCORM2004 サンプルコンテンツ					
☐ Page1	completed	passed	2	0	0000:10:19
☐ Page2	not attempted		0	0	0000:00:00

ページが表示されました インターネット

図 4. 4. 4. 2 レポート作成 > 「受講者単位」 出力結果

ボタンの説明

ボタン名	ボタン説明
前の受講者	受講者が複数存在する場合、現在表示している受講者の前の受講者を表示します。
次の受講者	受講者が複数存在する場合、現在表示している受講者の次の受講者を表示します。
全データ出力	レポートの出力対象の情報を表示します。 Excel の「ファイル」- 「名前を付けて保存」で、CSV形式の保存ができます。
チャート出力	受講者の各教材のステータスをコース単位で円グラフに出力します。

出力項目

出力項目名	出力項目説明
コース名称	受講者が学習を行ったコース名
受講者名	受講者の氏名
コース名	受講者が学習したコース名
教材名称	受講者が学習を行った教材 (SCO) 名
ステータス	受講者の学習ステータス (注 後述)
学習回数	受講者が行った学習回数
スコア	受講者の得点
累計時間	受講者の学習総時間



ステータス

SCORM1.2/2004 では以下のようなステータスが規定されています。SCORM2004 では、修了/学習中(コンプリーションステータス)と合格/不合格(サクセスステータス)を分けて管理します。

レポート表示	意味	内容	SCORM2004 種類
unknown	未定	まだ履歴の送信が実行されていません。	
not attempted	未学習	受講者が教材を学習していない状態です。	
incomplete	学習中	受講者が教材を学習中(修了、合格していない)の状態です。	コンプリーションステータス
completed	学習修了	受講者が教材を一通り学習し終えた(合格はしていない)状態です。	コンプリーションステータス
passed	合格	受講者が教材で合格と決められた結果を達成した状態です。	サクセスステータス
failed	不合格	受講者が教材で合格レベルに達しなかった結果の状態です。	サクセスステータス

「全データ出力」ボタンをクリックすると、対象者全員の情報が一度に出力されます。Excel の「ファイル」- 「名前を付けて保存」で CSV 形式で保存ができます。

受講者名	コース名	教材名称	コンプリーション	サクセス	学習回数	スコア	累計時間
guest 1	サンプルテスト1	サンプルテスト1	passed		1	80	0000:01:10
guest 1	お茶の水カルトQ	お茶の水カルトQ	not attempted		0	0	0000:00:00
guest 2	サンプルテスト1	サンプルテスト1	not attempted		1	0	0000:00:00
guest 2	お茶の水カルトQ	お茶の水カルトQ	not attempted		0	0	0000:00:00
guest 3	サンプルテスト1	サンプルテスト1	not attempted		0	0	0000:00:00
guest 3	お茶の水カルトQ	お茶の水カルトQ	not attempted		0	0	0000:00:00
guest 4	サンプルテスト1	サンプルテスト1	not attempted		0	0	0000:00:00
guest 4	お茶の水カルトQ	お茶の水カルトQ	not attempted		0	0	0000:00:00
guest 5	個人情報保護研修	2009年度個人情報保護	failed		1	80	0000:02:33
guest 5	サンプルテスト1	サンプルテスト1	incomplete		2	0	0000:00:07
guest 5	お茶の水カルトQ	お茶の水カルトQ	incomplete		4	0	0000:03:35

図 4. 4. 4. 3 レポート作成 > 「受講者単位」全データ出力の結果

4.5 受講者管理 > 受講者の登録・確認・編集

受講者管理には、次の機能があります。

- 受講者の登録・確認・編集 : 受講者のプロフィールの新規登録、確認・編集
- グループの編集 : 受講者のグループの編集

ここでは、新規受講者の登録、確認、編集、登録削除の操作について説明し、4.6 受講者管理 > グループの編集でグループの編集方法について説明します。

4.5.1 受講者の登録・確認・編集

「受講者の登録・確認・編集」画面は、管理者画面のナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすれば表示されます。

受講者の登録・確認・編集は、次の操作を行います。

- 新規登録 : 新規受講者の登録
- 確認・編集 : 登録済み受講者のプロフィールの確認、編集、登録削除

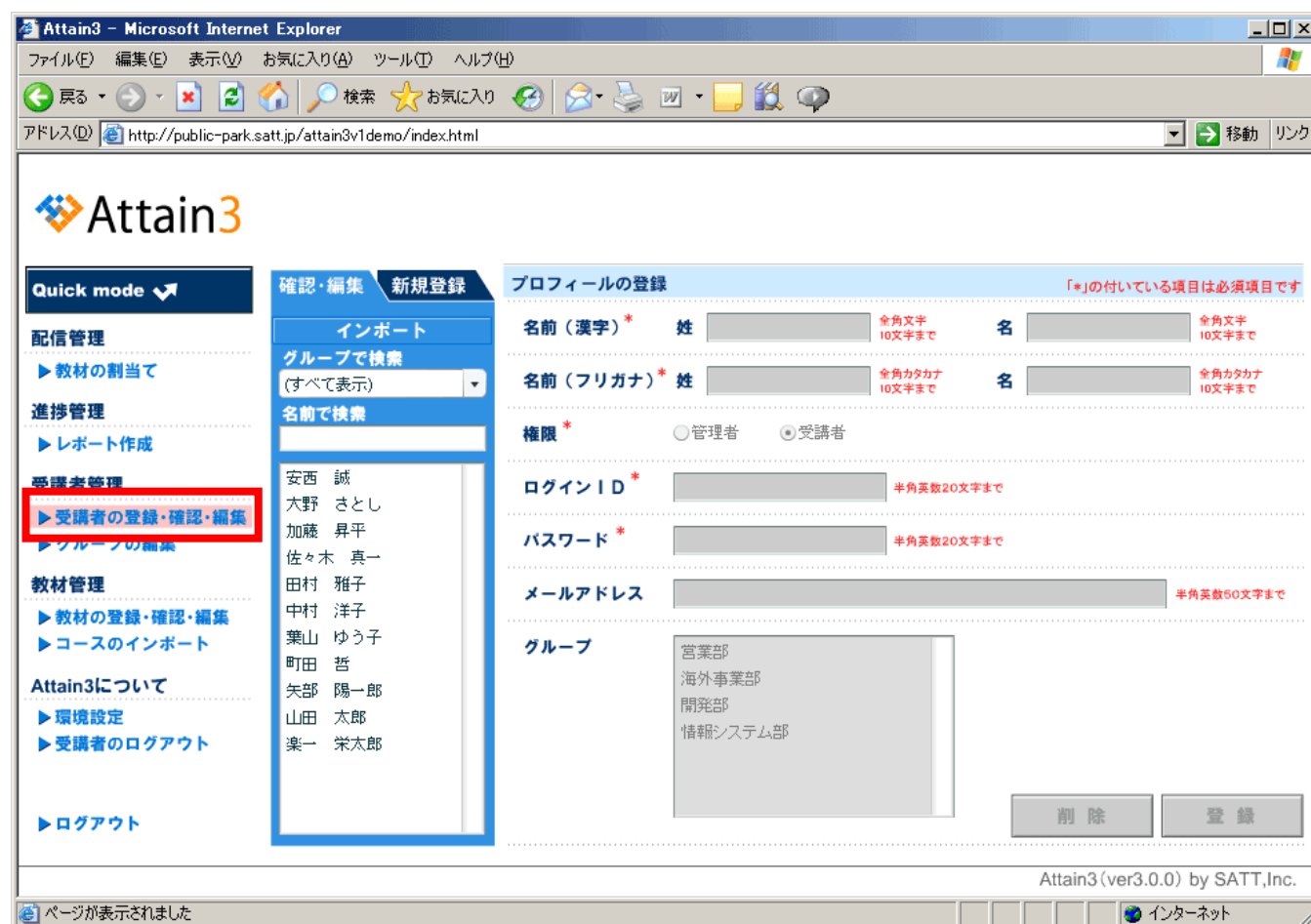


図 4.5.1 受講者の登録・確認・編集画面



4.5.2 受講者の登録・確認・編集 > 確認・編集・削除

登録済み受講者に対して、操作を行う場合は、まず、受講者一覧から受講者を選択します。受講者一覧では、デフォルトで、登録済みのすべての受講者が表示されます。

次の方法で抽出することが可能です。

- グループで検索 : 特定のグループを「グループで検索」リストから選択して、そのグループに所属している受講者のみを表示します。
- 名前で検索 : 受講者を名前で抽出します。

受講者の確認・編集を行うには

- ① 受講者を選択します。
それまで空白だった、姓、名などの欄に該当受講者のプロフィールが表示されます。
- ② 編集する項目がある場合は、該当箇所を編集します。
- ③ 「登録」ボタンをクリックします。
- ④ 「登録内容を変更しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
受講者一覧で登録内容を変更した受講者を選択して、内容を確認します。



図 4.5.2 受講者の確認・編集 > 確認・編集



受講者を削除するには

受講者を選択して、「削除」ボタンをクリックします。

この場合、学習履歴情報も削除され、削除された後、その受講者が学習することができなくなりますので、ご注意ください。

4.5.3 受講者の登録・確認・編集 > 新規登録

ここでは受講者を1名ずつ新規に登録する方法について説明します。4.5.4で説明のCSV登録を実施すれば、複数人を一度に登録可能です。

受講者を新規に登録するには

- ①「新規登録」タブをクリックします。
- ②「プロフィールの登録」画面に項目を入力します。
※アスタリスク(*)の付いている箇所は、必須入力項目です。
また項目ごとに、制限文字数がありますのでご注意願います。
- ③「登録」ボタンをクリックします。
- ④「入力内容を登録しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
- ⑤「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
「受講者一覧」で追加した受講者を確認します。

図 4.5.3 受講者の登録・確認・編集 > 新規登録



4.5.4 受講者の登録・確認・編集 > CSVによるインポート

受講者を複数人数登録する場合は、CSV によるインポート機能を使用すると便利です。Excel に人数分必要項目を入力して、CSV 保存したものをインポート可能です。

受講者を CSV からインポートするには

- ①Excel に必要項目を入力します。
 - ②入力した Excel を「ファイル」 - 「名前を付けて保存」で、CSV ファイルとして保存します。
 - ③受講者一覧の上にある「インポート」ボタンをクリックします。
 - ④「CSV ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されるので、「ファイルの選択」ボタンをクリックします。
 - ⑥「アップロードするファイルを選択します」ダイアログボックスが表示されるので、②で保存した CSV ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
 - ⑦「インポート」ボタンをクリックします。
- 「受講者一覧」で追加した受講者を確認します。



図 4.5.4 CSV によるインポート「インポート」ボタンクリック後の画面



Excel ファイルの記入方法

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	ログインID	パスワード	姓	名	姓 (カタカナ)	名 (カタカナ)	メールアドレス	権限	グループ名 1	グループ名 2	グループ名 3	登録日
2	kishi	1234	岸	礼子	キシ	レイコ	kishi@aa.jp	1	開発			2007/11/1
3												

記入内容説明

記入例

権限は、1 が管理者、2 が受講者です。

グループは 3 つまで入力可能で、実際に登録済のグループ名を入力します。(オプション)

グループ名はあらかじめ Attain3 のグループに登録されている必要があります。

L 列の登録日も必須項目です。

実際には、記入内容説明(1 行目)は不要です。



4.6 受講者管理 > グループの編集

4.6.1 グループの編集

Attain3 では、受講者をグループとして管理することができます。グループを同じくするすべての受講者に教材割り当てを行ったり、グループ単位で進捗管理のレポート作成を行うことができます。受講者は最大3つのグループに登録できます。

グループの編集には次の3つの操作があります。

- グループ名から編集 : グループ毎に登録済みの受講者、未登録の受講者をリストアップし、受講者の登録、登録削除を行う
- 受講者名から編集 : 受講者の登録済みグループ、未登録グループをリストアップし、受講者のグループ登録、登録削除を行う
- グループの設定 : 新規グループの作成、グループ名の変更、グループの削除を行う

「グループの編集」画面は、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると表示されます。



図 4.6.1 受講者管理 > グループの編集

4.6.2 グループの編集 > グループ名から編集

グループ名から、登録する受講者や登録解除する受講者を指定する機能です。

「グループリスト」のグループを選択すると、「受講者リスト」にグループに未登録の受講者が、「現在登録されている受講者リスト」に登録済みの受講者が表示されます。受講者リストの受講者名の右横の数字は現在登録されているグループ数です。

グループに未登録の受講者を登録するには

- ①画面左の「グループ名から編集」をクリックまたは選択されていることを確認します。
- ②「グループリスト」からグループを選択します。
- ③選択したグループに登録したい受講者を「受講者リスト」から選択します。
- ④「追加」ボタンをクリックします。
- ⑤選択した受講者が「現在登録されている受講者」に移ります。
- ⑥「登録」ボタンをクリックします。
- ⑦「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
- ⑧「所属している受講者を変更しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

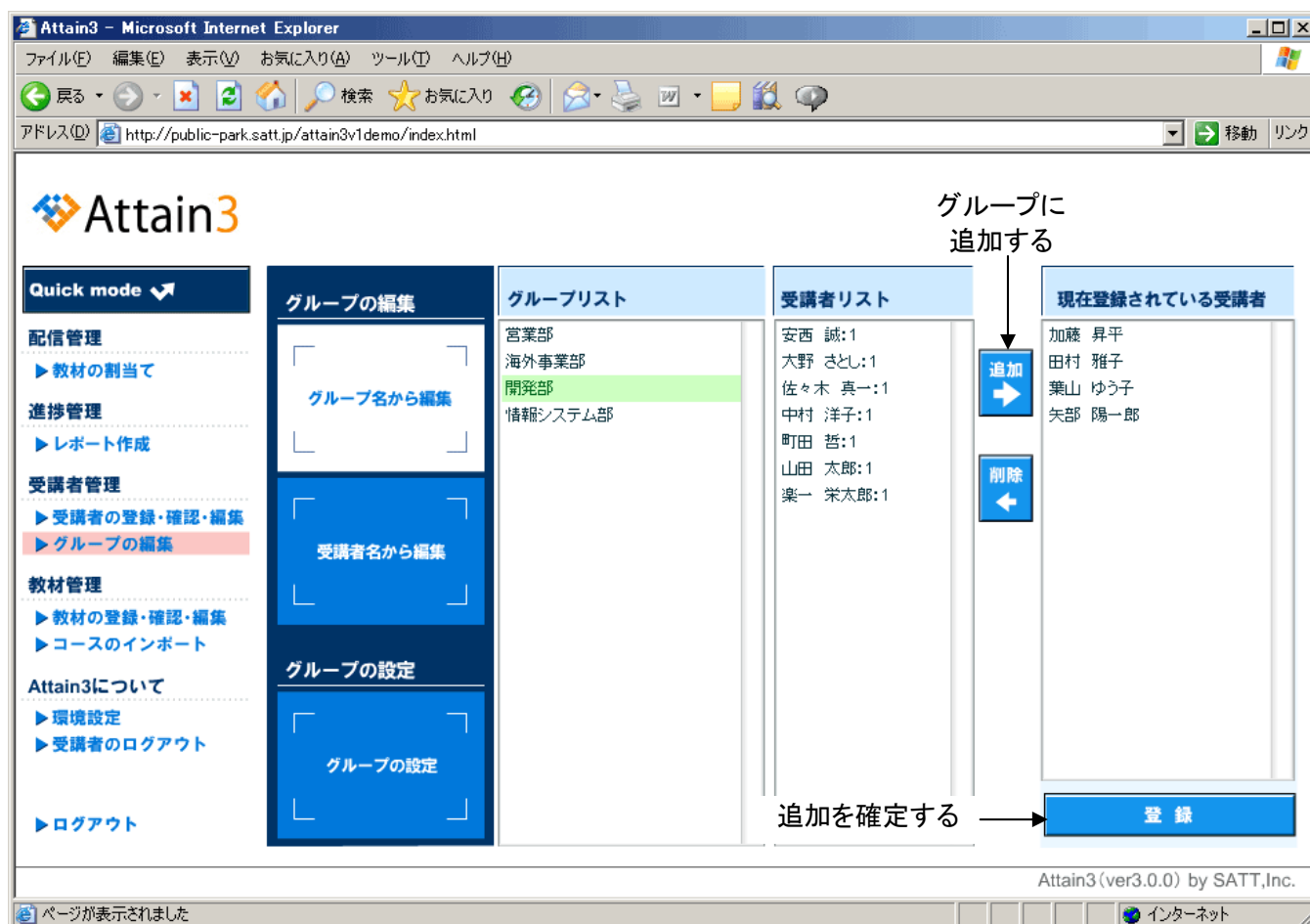


図 4. 6. 2. 1 グループの編集 > グループ名から編集



登録済み受講者を解除するには

- ①画面左の「グループ名から編集」をクリックまたは選択されていることを確認します。
- ②「グループリスト」からグループを選択します。
- ③解除したい受講者を「現在登録されている受講者リスト」から選択します。
- ④「削除」ボタンをクリックします。
- ⑤選択した受講者が「受講者リスト」に移ります。
- ⑥「登録」ボタンをクリックします。
- ⑦「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
- ⑧「所属している受講者を変更しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



図 4. 6. 2. 2 グループの編集 > グループ名から解除

4.6.3 グループの編集 > 受講者名から編集

受講者名から、登録するグループや登録解除するグループを指定する機能です。「受講者リスト」から受講者を選択すると、「現在設定されているグループ」リストに登録済みのグループが表示され、「グループリスト」に未登録のグループが表示されます。

グループに未登録の受講者を登録するには

- ①画面左の「受講者名から編集」をクリックします。
 - ②「受講者リスト」から受講者を選択します。
 - ③選択した受講者に登録したいグループを「グループリスト」から選択します。
 - ④「追加」ボタンをクリックします。
 - ⑤選択したグループが「現在設定されているグループ」に移ります。
 - ⑥「登録」ボタンをクリックします。
 - ⑦「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
 - ⑧「グループを変更しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- 受講者に追加できるグループは、3 つまでです。

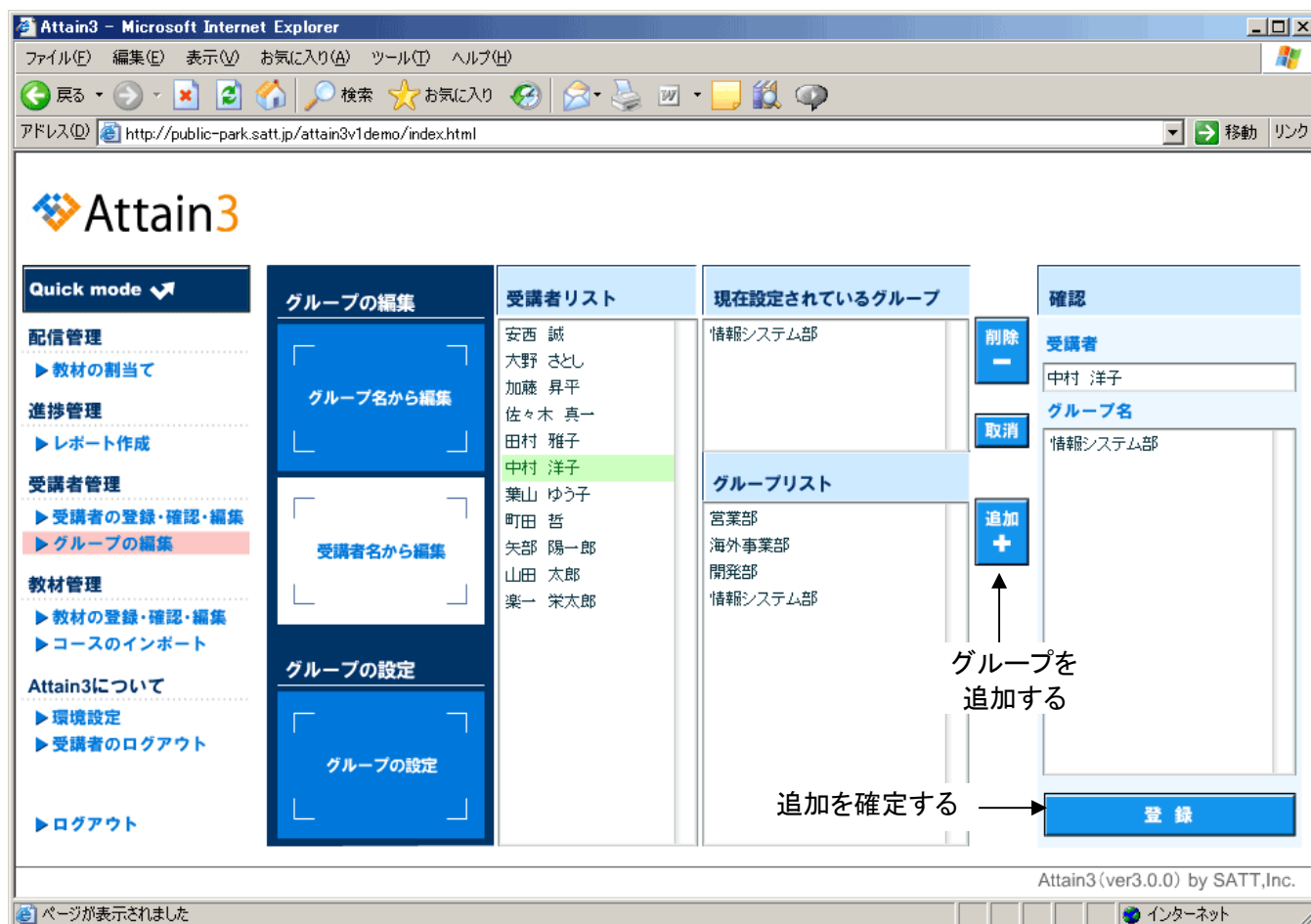


図 4.6.3.1 グループの編集 > 受講者名から編集

Attain3

グループ登録を解除するには

- ①画面左の「受講者名から編集」をクリックします。
- ②「受講者リスト」から受講者を選択します。
- ③登録を解除したいグループを「現在設定されているグループ」から選択します。
- ④「削除」ボタンをクリックします。
- ⑤選択したグループが「グループリスト」に移ります。
- ⑥「登録」ボタンをクリックします。
- ⑦「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
- ⑧「グループを変更しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

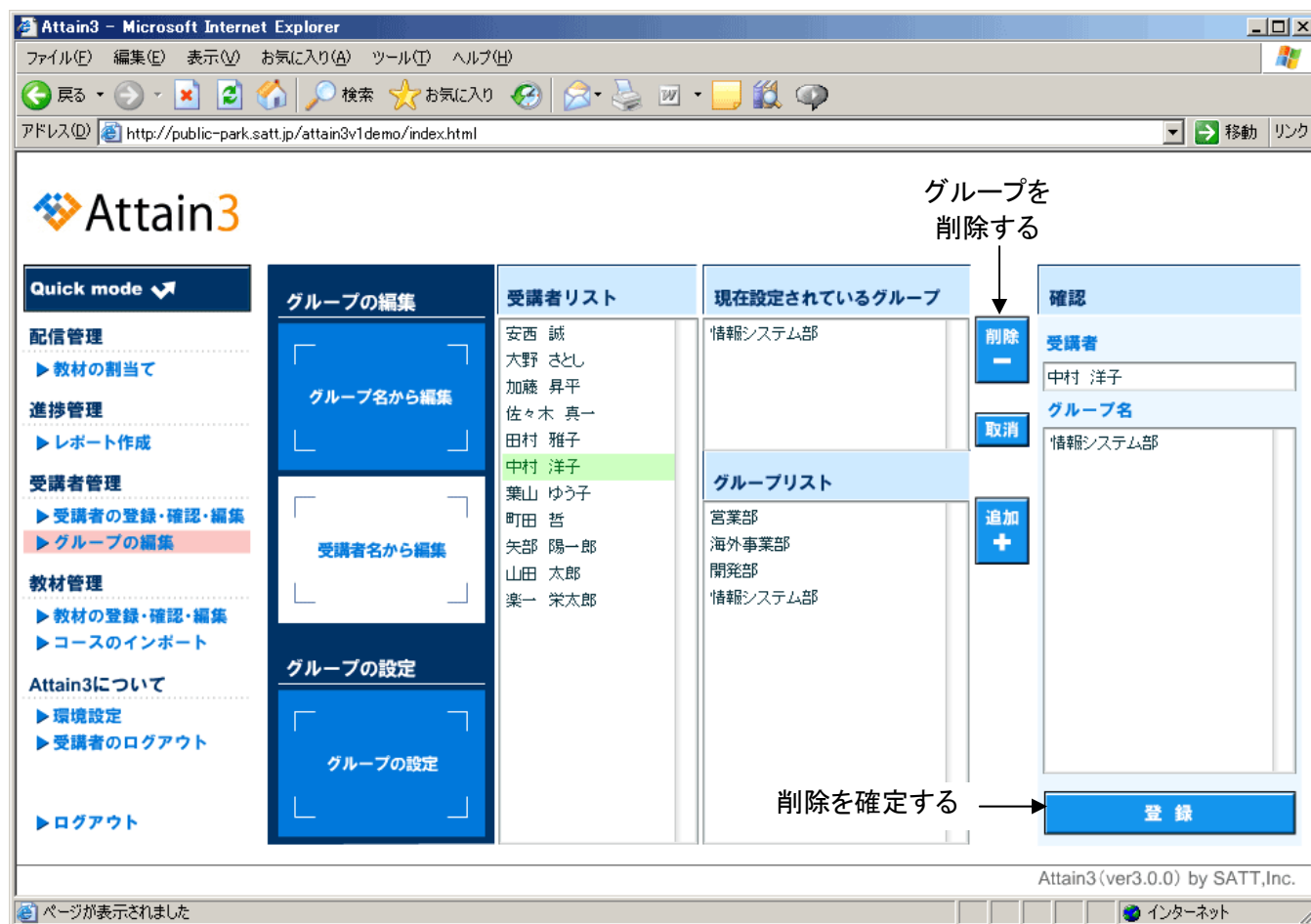


図 4. 6. 3. 2 グループの編集 > 受講者名から編集して解除



4.6.4 グループの設定 > グループの設定

グループの新規作成、グループ名の変更、グループの削除を行います。

グループを新規に作成するには

- ①画面左の「グループの設定」をクリックします。
 - ②設定モードの「グループの新規作成」をクリックします。
 - ③「グループ名」ボックスに、新規に作成するグループ名を入力します。
 - ④「登録」ボタンをクリックします。
 - ⑤「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
 - ⑥「グループを作成しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- 作成されたグループ名が「グループリスト」に追加されています。（「グループリスト」はグレイですが、問題ありません。）

グループ名を変更するには

- ①画面左の「グループの設定」をクリックします。
 - ②設定モードの「グループ名変更」をクリックします。
 - ③「グループリスト」から名前を変更するグループを選択します。
 - ④「グループ名」ボックスに現在のグループ名が表示されますので、名前を変更します。
 - ⑤「登録」ボタンをクリックします。
 - ⑥「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
 - ⑦「グループの名を変更しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- 変更されたグループ名が「グループリスト」に表示されています。

グループを削除するには

- ①画面左の「グループの設定」をクリックします。
 - ②設定モードの「グループ削除」をクリックします。
 - ③「グループリスト」から削除するグループを選択します。
 - ④「登録」ボタンをクリックします。
 - ⑤「更新してもよろしいでしょうか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
 - ⑥「グループを削除しました。」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- 削除したグループが「グループリスト」から消えました。



図 4. 6. 4 グループの編集 > グループの設定



4.7 教材管理 > 教材の登録・確認・編集

教材管理には、以下の機能があります。

- 教材の登録・確認・編集 : 教材(コース、コンテナ、SCO)の新規登録、確認・編集
- コースのインポート : 教材のインポートによる新規登録

4.7.1 教材の登録・確認・編集

教材の登録・確認・編集では次の操作をおこなえます。

- 教材追加 : 新規教材(コース、コンテナ、SCO)の追加
- 確認・編集 : 登録済み教材の内容確認、(登録内容の)編集
- 登録削除 : 登録済み教材の削除

「教材の登録・確認・編集」画面は、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると表示されます。

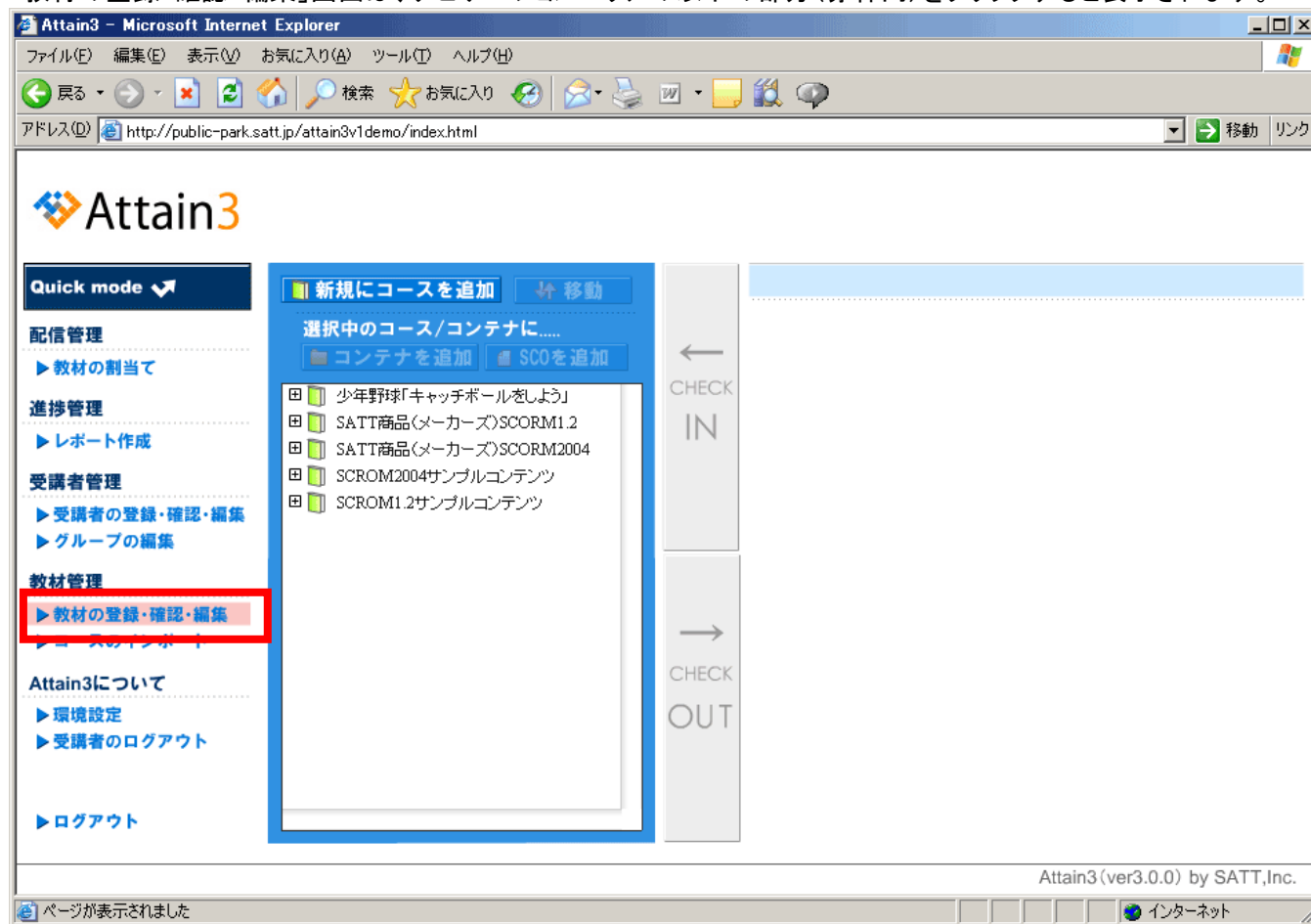


図 4. 7. 1 教材管理 > 教材の登録・確認・編集

4.7.2 CHECK IN(チェックイン)とCHECK OUT(チェックアウト)

教材を編集している最中に受講者が受講するのを防ぐために、Attain3 には、「CHECK IN」と「CHECK OUT」という機能があります。教材は、常に、「CHECK IN」または「CHECK OUT」のどちらかの状態にあります。

チェックイン、チェックアウトの状態を変更する場合は、コースを選択して、「CHECK IN」または「CHECK OUT」をクリックします。教材一覧からコンテナ、SCO が選択された場合、「CHECK IN」、「CHECK OUT」は、灰色表示されますが、状態はコースと同じ状態にあります。

状態	内容
「CHECK OUT」	<p>教材を編集、登録、削除するために使われる状態で、チェックアウト中の教材を受講者が学習することはできません。また、受講者が学習教材を受講している場合は、チェックアウトを行うことができません。</p> <p>この状態で受講者が教材を選択すると、「管理者が編集中のため、このコースは受講できません。」とメッセージが表示されます。</p> <p>管理者が新規にコースを追加すると、チェックアウトの状態になっていますので、受講者が受講可能にするためには、「CHECK IN」をクリックしてください。</p>
「CHECK IN」	<p>受講者が学習を実行できる状態です。</p> <p>教材を編集、登録、削除は行えません。</p> <p>教材に変更を加えたい場合は、「CHECK OUT」をクリックしてください。</p>

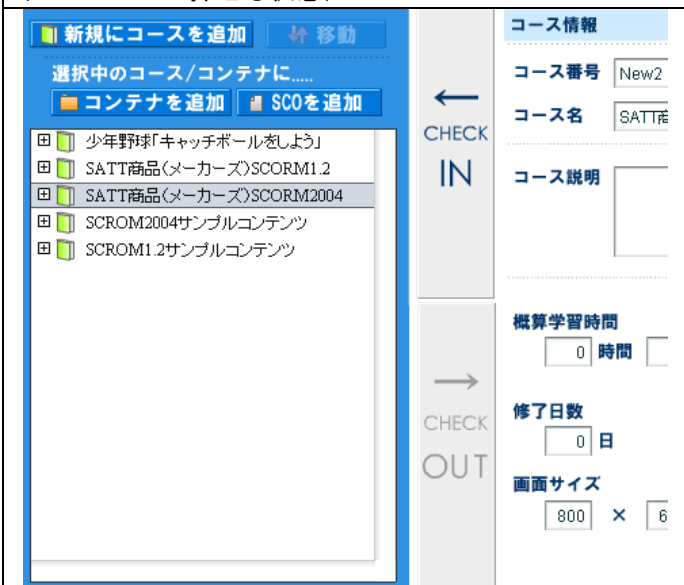
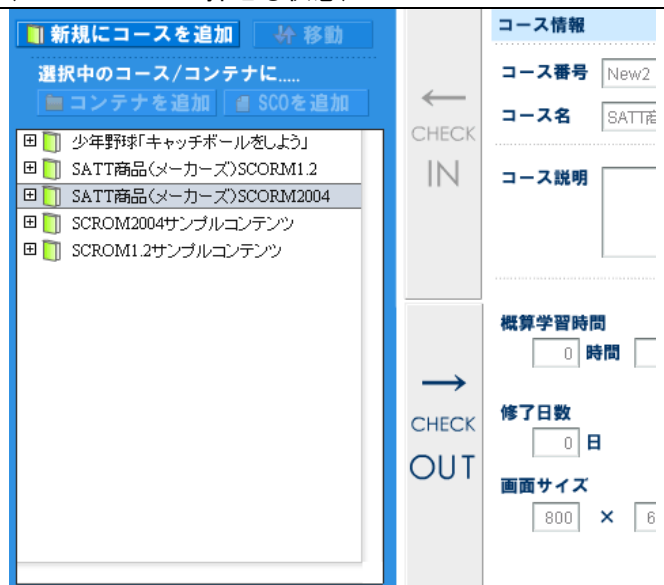
「CHECK OUT」(チェックアウト)状態 (CHECK IN が押せる状態)	「CHECK IN」(チェックイン)状態 (CHECK OUT が押せる状態)
	

図 4. 7. 2 チェックアウトとチェックイン



4.7.3 教材を登録するには

教材を登録するには、登録するコンテンツの構成を決定して、コースのアウトライン(教材構成)を作成します。

コースのアウトラインを作成するには

- ①「新規にコースを追加」ボタンをクリックして、「コース情報」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。
 - ②「コンテナを追加」ボタンをクリックして、「コンテナ情報」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。
 - ③「SCO を追加」ボタンをクリックして、「SCO 情報」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。
 - ④「CHECK IN」をクリックして、受講者が受講可能とします。
- コンテナの追加(②)は省略して、コース → SCO のみのアウトラインを作成することも可能です。

以降で、①～④について詳細を説明します。

4.7.4 教材の登録 > コースの追加

コースを新規に追加するには

- ①「新規にコースを追加」ボタンをクリックします。
 - ②右画面の「コース情報」にコースの内容を入力します。
※「コース情報」を編集すると「登録」ボタンがクリック可能になります。
 - ③「登録」ボタンをクリックします。
 - ④「この変更を実行しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
 - ⑤「DB 更新中」とインジケータが表示されます。
 - ⑥「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- この状態では受講者は学習実行できません。この後、このコースにコンテナ(コンテナの追加は必須ではない)や SCO を追加し、コースをチェックインすれば、受講者はコース内の教材(SCO)の実行が可能になります。

「コース情報」について

項目	設定内容
コース番号	任意で半角英数文字を入力可能です。 目次ウィンドウでのコースの表示は、コース番号順に昇順で表示されます。
コース名	受講者画面で表示されるコース名です。
コース説明	受講者画面でコースを選択した時に表示される、説明です。
標準学習時間	受講者画面で表示されます。
コース開始日	コースを開始する日付を入力します。 開始日付を記録するためのものであって、この日付にならないと受講者が受講できない等のなんらかの制御を行うものではありません。
修了日数	修了までの目安の日数を入力します。 受講者に対して、なんらかの制御を行うものではありません。
SCORM バージョン	コンテンツの履歴形式に合わせて、「SCORM1.2」または「SCORM2004」を選択します。
画面サイズ	設定したサイズで教材のウィンドウを表示します。



マニフェストファイルの有無

「コースのインポート」画面でマニフェストファイルからインポートしたのか、「教材の登録・確認・編集」画面で新規にコースを登録したのか表示されます。マニフェストファイルからインポートした場合、コース情報の編集は制限がかかります。「コース番号」と「画面サイズ」以外は編集できません。

図 4. 7. 4 教材の登録 > コースの追加(新規にコースを追加 直後)



4.7.5 教材の登録 > コンテナの追加

コンテナを新規に追加するには

- ①コースを選択して、「コンテナを追加」ボタンをクリックします。
- ②「教材一覧」から追加されたコンテナを選択すると、右画面に「コンテナ情報」が表示されるので、「コンテナ名」を入力します。
※「コンテナ名」を編集すると「登録」ボタンがクリック可能になります。
- ③「登録」ボタンをクリックします。
- ④「この変更を実行しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤「DB 更新中」とインジケータが表示されます。
- ⑥「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
コンテナを新規に追加すると、教材一覧の展開が閉じますので、コースを展開してから追加したコンテナを選択します。

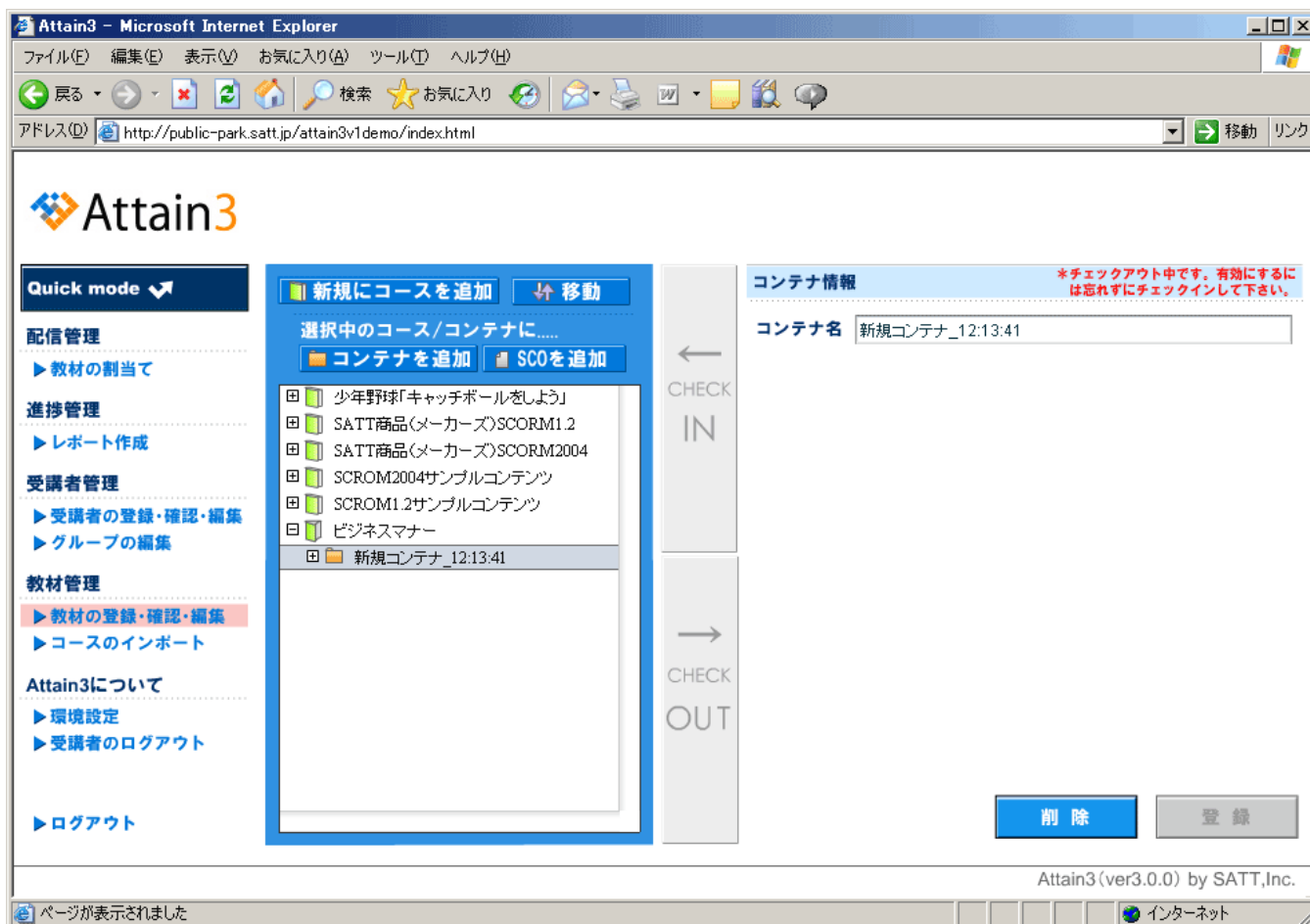


図 4.7.5 教材の登録 > コンテナの追加



4.7.6 教材の登録 > SCOの追加

SCOを追加するには

- ①コースまたはコンテナを選択して、「SCOを追加」ボタンをクリックします。
- ②「教材一覧」から追加されたSCOを選択すると、
右画面に「SCO情報」が表示されるので、SCOの内容を入力します。
※「SCO情報」を編集すると「登録」ボタンがクリック可能になります。
- ③「登録」ボタンをクリックします。
- ④「この変更を実行しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、
「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤「DB更新中」とインジケータが表示されます。
- ⑥「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
教材(SCO)登録後、受講者が学習可能にするには「コース」を選択して、「CHECK IN」をクリックします。

「SCO情報」について

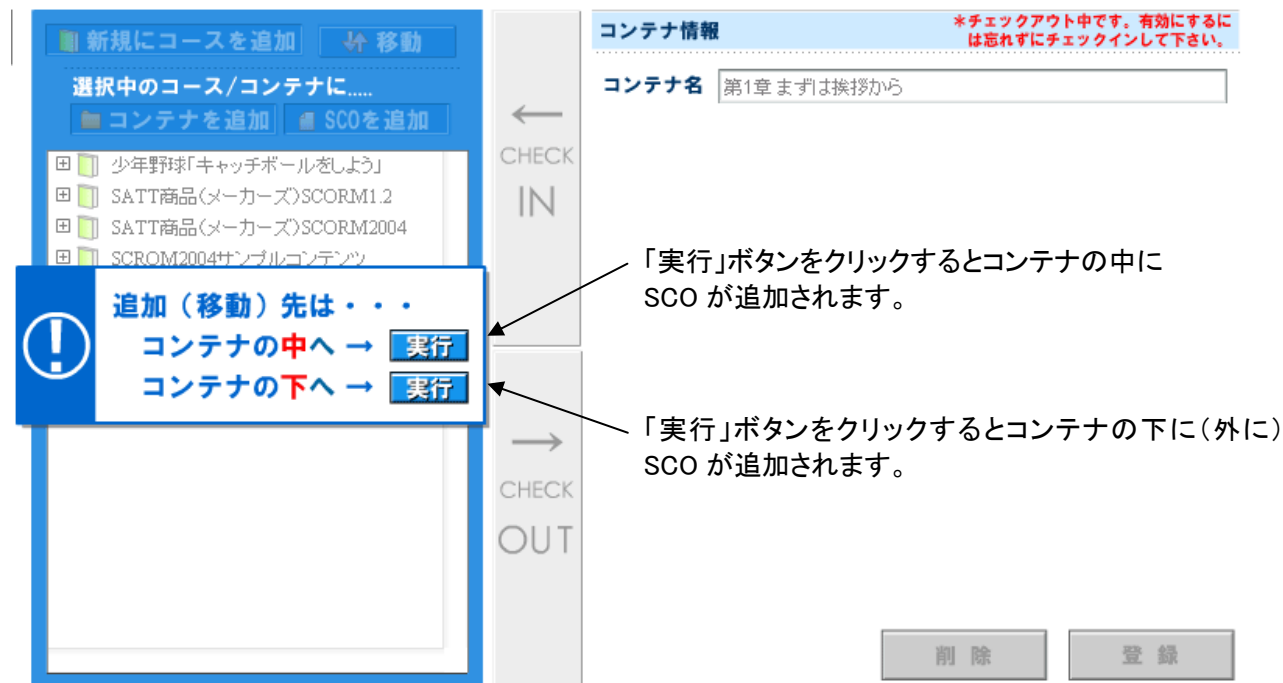
項目	設定内容
SCO名	受講者画面で表示される教材名です。
URL	教材が保管されているURL(SCOのファイル名まで記述必要)を指定します。 Attain3のWebサーバ上のURLです。
説明	受講者画面で受講者が教材(SCO)を選択すると、表示される説明です。 管理者が任意に記述可能ですが、教育計画に沿って教材の簡易な説明を記述することをお勧めします。
設定	教材環境に関する設定を記述する欄ですが、空白でも構いません。
最高点と合格点の指定	最高点：教材(SCO)に設定する最高点を入力します。 合格点：教材(SCO)に設定する合格点を入力します。
種別	解説、試験、ガイドの3つのタイプから教材タイプを選びます。 受講者に対して、なんらかの制御を行うものではありません。
概算学習時間	受講者画面で表示されます。教育計画をもとに記述します。
履修条件	該当の教材(SCO)を受講する前に履修すべき教材がある場合は、その教材を選択します。 選択された教材が「学習修了」または「合格」にならないと、該当の教材を実行できません。
レビュー回数:	教材(SCO)を起動可能な回数に制限を付けたい場合は、入力します。 0だと制限が無い(何回でも起動可能)という意味です。



図 4. 7. 6 教材の登録 > SCO の追加

4.7.7 教材の登録 > コンテナ内へのSCOの追加

コンテナを選択して、「SCO 追加」ボタンをクリックすると、教材(SCO)を追加する位置を聞かれます。



Attain3(ver3.0.0) by SATT,Inc.

図 4. 7. 7. 1 教材の登録 > コンテナ内への SCO の追加

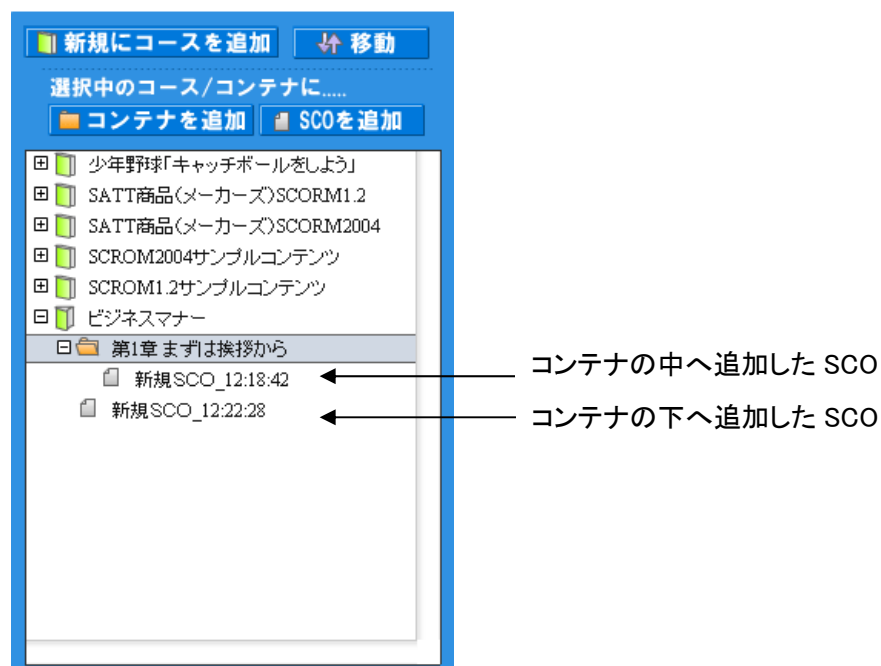


図 4. 7. 7. 2 教材管理 > コンテナ内への SCO の追加



4.7.8 教材(コース、コンテナ、SCO)の編集

コース、コンテナ、SCOを編集するには

- ①編集したいコースを選択して、「CHECK OUT」をクリックします。
※コンテナ、教材(SCO)を編集する場合でも、コースを選択してチェックアウトします。
- ②編集したいコース、コンテナまたはSCOを選択して、右の情報画面を変更します。
- ③「登録」ボタンをクリックします。
- ④「この変更を実行しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤「DB 更新中」とインジケータが表示されます。
- ⑥「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
編集が終了したら、受講者に受講可能にしたい場合は、「CHECK IN」をクリックします。

4.7.9 教材(コース、コンテナ、SCO)の削除

コース、コンテナ、SCOを削除するには

- ①コースを選択して、「CHECK OUT」をクリックします。
※コンテナ、教材(SCO)を削除する場合でも、コースを選択してチェックアウトします。
- ②削除するコース、コンテナまたはSCO(教材)を選択して、「削除」ボタンをクリックします。
- ③「削除しますか」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- ④「DB 更新中」とインジケータが表示されます。
- ⑤「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
削除が終了したら、受講者に受講可能にしたい場合は、「CHECK IN」をクリックします。



4.7.10 SCOの移動

教材(SCO)は、同じコース内であれば、移動ができます。

SCOを移動するには

- ①移動するSCOのコースを選択して、「CHECK OUT」をクリックします。
- ②移動するSCO(教材)を選択して、「移動」ボタンをクリックします。
- ③「教材一覧」に教材の移動先がマウスポイント上に黒い線が表示されるので、適切な箇所をクリックします。

コンテナの中の教材(SCO)を外に移動、またはコンテナの外の教材(SCO)をコンテナ内に移動することも可能です。

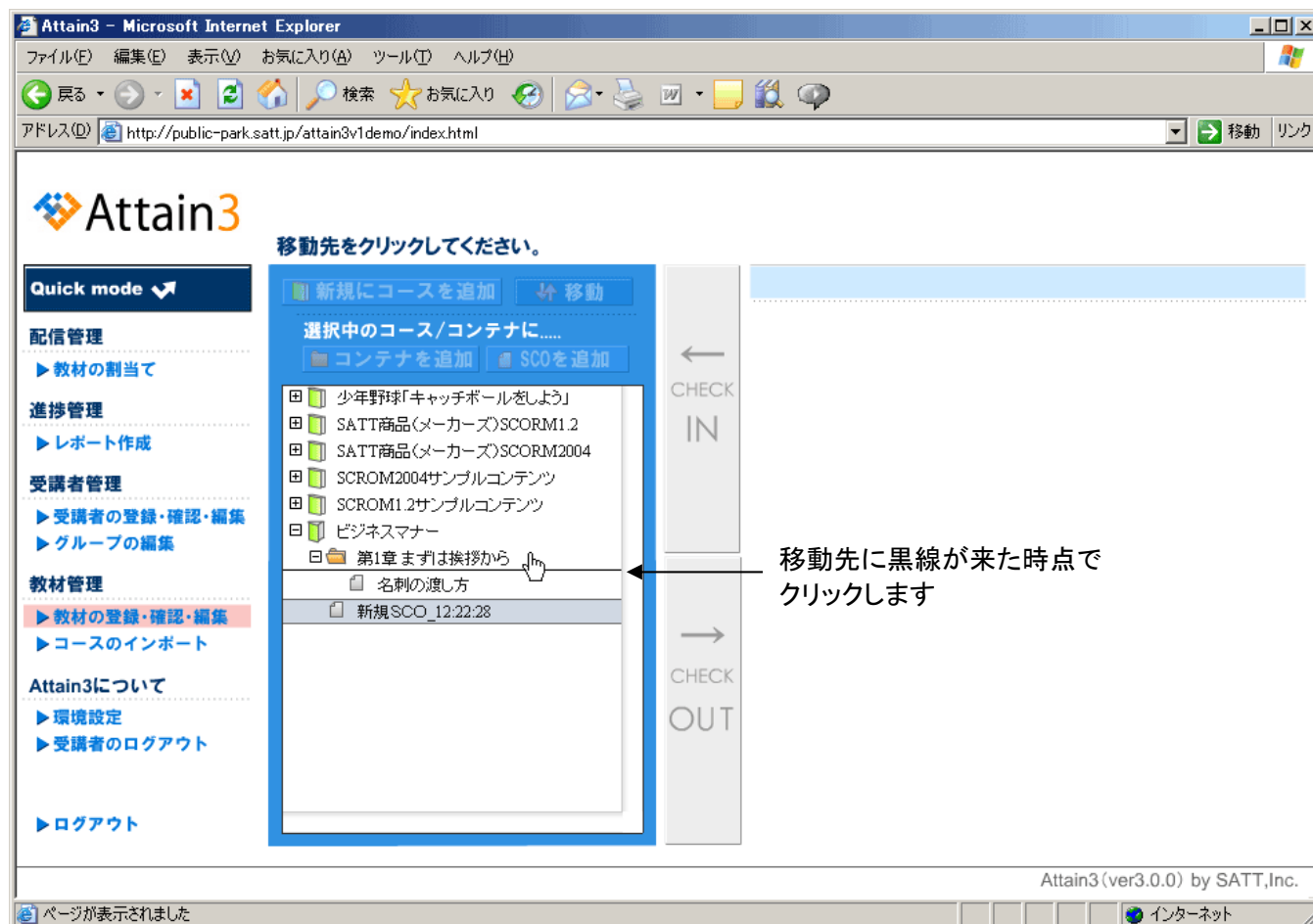


図 4.7.10 SCOの移動



4.8 教材管理 > コースのインポート

4.8.1 コースのインポート

教材構成(コースのアウトライン)を記述したマニフェストファイルを Attain3 にインポートすることにより、個別に教材の登録をすることなく、容易に Attain3 の教材構成を構築することができます。

マニフェストファイルは、SCORM2004、SCORM1.2 のどちらの形式でもインポート可能です(注)。

「コースのインポート」画面は、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると表示されます。

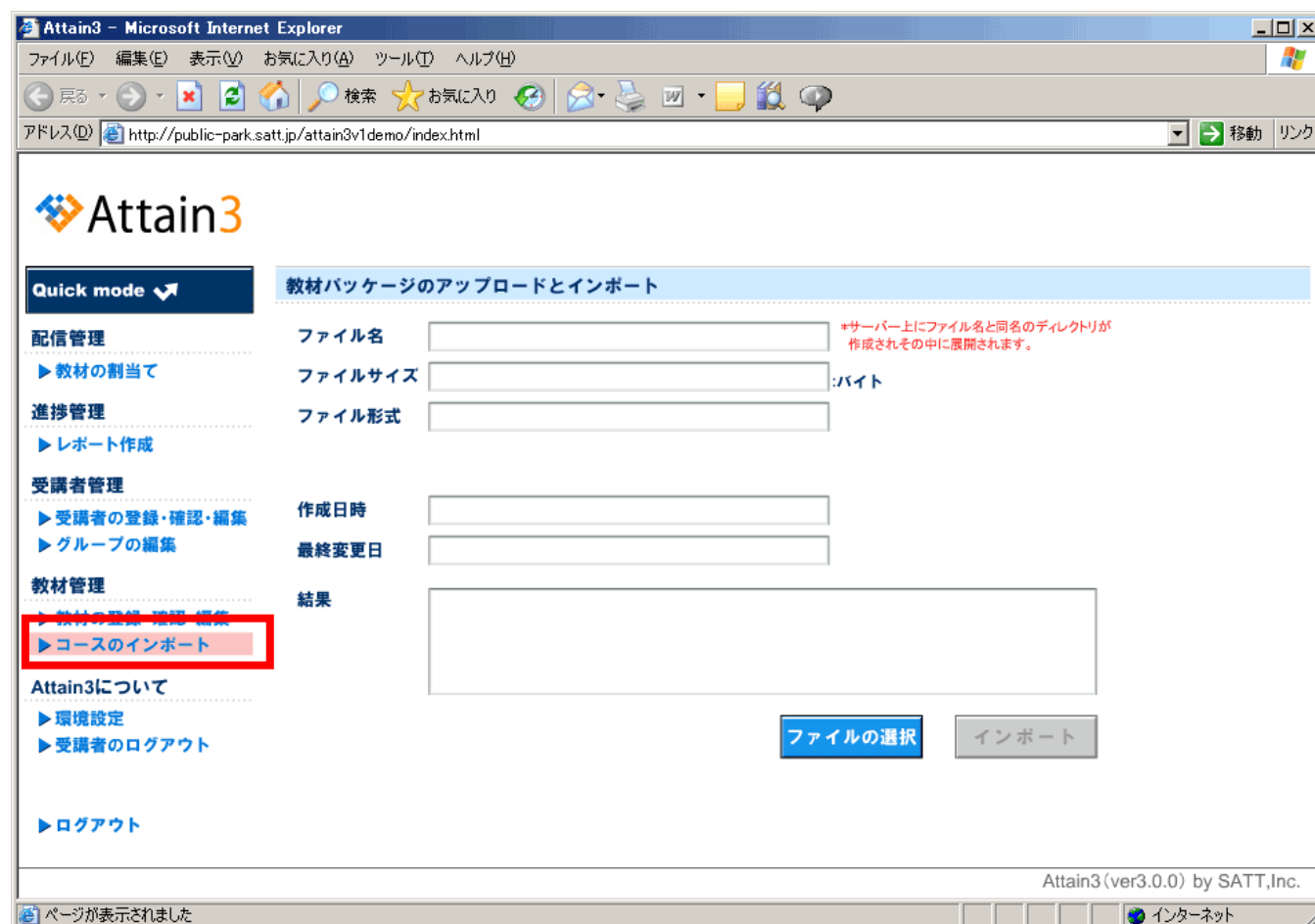


図 4. 8. 1 教材管理 > コースのインポート

(注)

マニフェストファイル(imsmanifest.xml)の形式は、LMS によって違いがあります。特定の LMS でインポートできていても、Attain3 ではインポートできない(またはインポートしても予期した動きをしない)可能性がありますので、ご注意ください。



4.8.2 コースのインポート > インポート

インポートするファイルは、Zip としてマニフェストファイル (imsmanifest.xml) とコンテンツを一緒に圧縮した形式のもので、マニフェストファイルのみまたはコンテンツのみインポートしても動作しません。

コースをインポートするには

- ①「ファイルの選択」ボタンをクリックします。
- ②「アップロードするファイルを選択します」ダイアログボックスが表示されます。
- ③インポートする zip ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- ④「インポート」ボタンをクリックします。
- ⑤「インポートしてもよろしいですか？」ダイアログボックスが表示されるので、「実行」ボタンをクリックします。
- ⑥「ファイルをインポートしました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「教材の登録・編集・確認」画面でインポートしたコースを確認します。マニフェストファイルを使用してインポートしたコースは、「教材の登録・編集・確認」画面での編集機能は制限されます。

インポートした教材は、Application.cfm で「Application.CONTENTES_DIR」として指定したサーバ上の場所に保存されます。

(注)

SCORM パッケージ (ZIP ファイル) 内に日本語の混じったファイル名があると、インポートに失敗します。SCORM パッケージ内では日本語ファイル名を使用しないようにお願いします。



4.9 Attain3 について > 環境設定

4.9.1 環境設定

今まで説明してきた機能の他に Attain3 には各種パラメータを設定する環境設定と管理者が教材登録をする等の時に便利な受講者のログオフ機能があります。ここでは環境設定の操作について、4. 10では受講者のログオフについて説明します。

「環境設定」画面は、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると表示されます。

図 4. 9. 1 環境設定



4.9.2 環境設定を変更するには

環境設定の値を変更するには

- ①各項目の値を任意に変更します。
- ②「登録」ボタンをクリックします。
- ③「この変更を実行しますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- ④「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「環境設定」で設定可能なパラメータと内容は以下の通りです。

「環境設定」について

項目	設定内容
タイムアウト時間設定	ここで設定した時間(単位:分)の間、ユーザーが何も Attain3 の操作を行わないと Attain3 はユーザーとのセッションを強制切断します。 セッションを切断しても、履歴の送信ができない訳ではありません(SCOは動作します)。
点数のデフォルト設定	テスト教材の総合点の最高点、合格点、最低点を設定します。 ここで設定した点数が、「教材の登録・編集・確認」画面でデフォルト値として表示されます。
デフォルトURL	Attain3 のサーバ環境のあるURLを設定します。 教材の登録を実施する際に、SCO の URL のデフォルト値として表示されます。



4.10 Attain3 について > 受講者のログオフ

4.10.1 受講者のログオフ

管理者の操作には受講者が学習を行っているとは操作できないものがあります。例えば、受講者が起動しているコースは、管理者が編集できません。

こんな時に受講者のログオフ機能を使い、受講者を強制的にログアウトさせることができます。

「受講者のログオフ」画面は、ナビゲーションエリアの以下の部分(赤枠内)をクリックすると、表示されます。

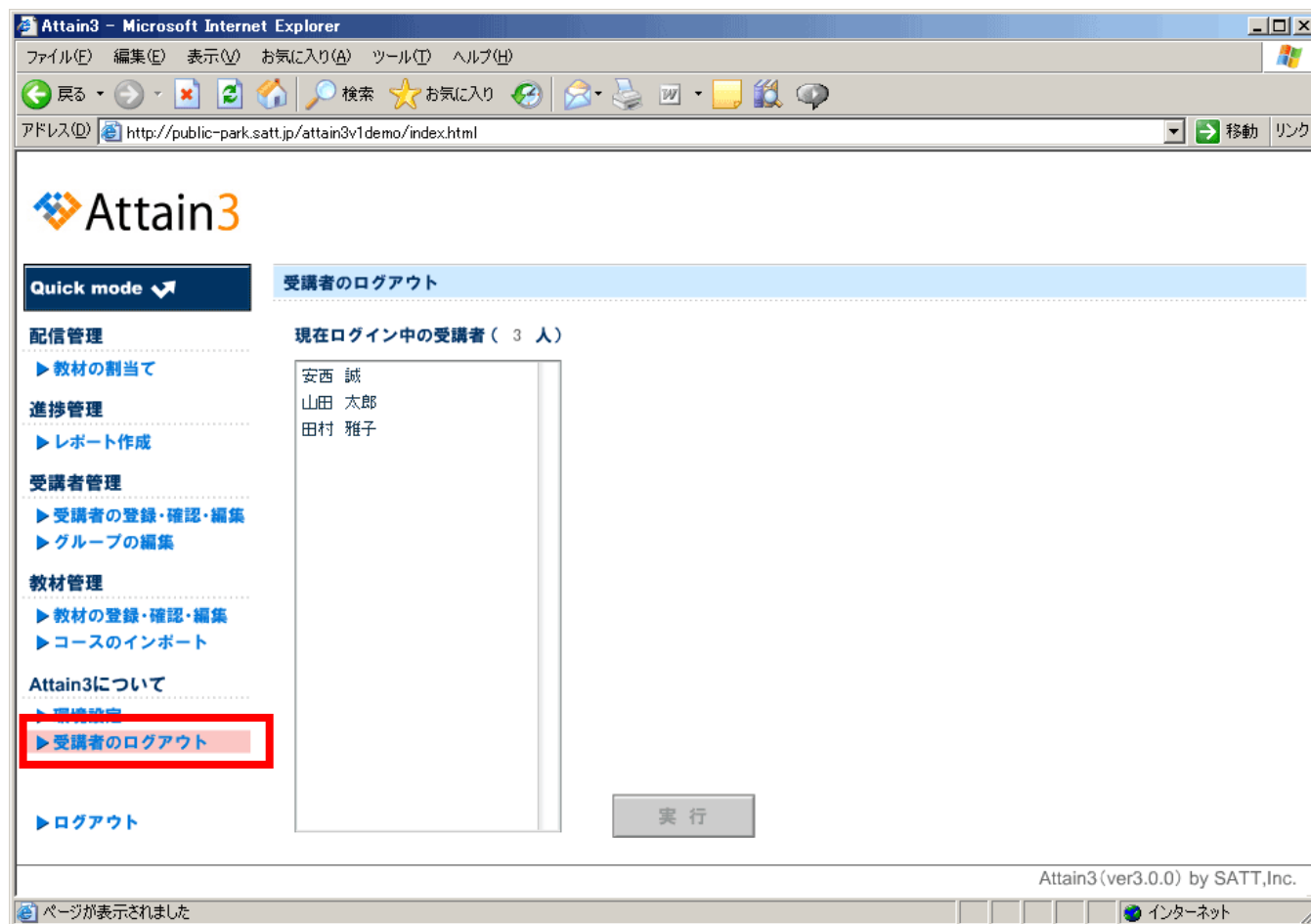


図 4. 10. 1 受講者のログオフ

「受講者のログオフ」画面で「受講者リスト」に受講者名の表示がないときは Attain3 にログインしている受講者は一人もいませんので、受講者のログオフをする必要はありません。

受講者をログオフするには

- ①「受講者リスト」の受講者を選択します。
- ②「実行」ボタンをクリックします。
- ③「選択したユーザーをログオフさせますか？」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- ④「処理が終了しました」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



4.11 ログアウト

管理者の操作を終了する場合は、ログアウトを実行します。

ログアウトするには

- ①ナビゲーションエリアの「ログアウト」ボタンをクリックします。
- ②「ログアウトしてよろしいですか」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。
ログイン画面が表示されます。

The screenshot shows the Attain3 web application interface in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows the URL: http://public-park.satt.jp/attain3v1/demo/index.html. The main content area displays a table of course progress for various users. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- Quick mode
- 配信管理
 - 教材の割当て
- 進捗管理
 - レポート作成
- 受講者管理
 - 受講者の登録・確認・編集
 - グループの編集
- 教材管理
 - 教材の登録・確認・編集
 - コースのインポート
- Attain3について
 - 環境設定
 - 受講者のログアウト

The 'ログアウト' (Logout) button is highlighted with a red box in the 'Attain3について' section. The main table shows the following data:

受講者名	安西 誠	大野 さと	加藤 昇平	佐々木 真一	田村 雅子	中村 洋子	葉山 ゆう子	町田 哲郎	矢部 陽一	山田 太郎	奥一 栄太郎
少年野球「キャッチボールぞう」	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SATT商品(メーカーズ)SCORM1.2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SATT商品(メーカーズ)SCORM2004	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SCORM2004サンプルコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SCORM1.2サンプルコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ビジネスマナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

The footer of the application shows 'Attain3(ver3.0.0) by SATT,Inc.' and the status bar indicates 'ページが表示されました' (Page displayed) and 'インターネット' (Internet).

図 4.11 ログアウト



5. Attain3 の動作環境

Attain3 の推奨動作環境は以下の通りです。

2009年2月20日にリリースされたバージョン 3.0.5 において、Attain3 の開発は終了させていただきました。そのため、2009年2月20日以降に発売・リリースされた OS やブラウザでは、正常に動作しない可能性がありますのでご了承ください。Attain3 の後継製品として、最新 OS 等に対応している smart FORCE (スマートフォース) のご利用をおすすめします。

クライアント環境	
モニターサイズ	XGA (1024 × 768) 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Windows 2000 ● Microsoft Windows XP ● Microsoft Windows Vista
ブラウザ※	Microsoft Internet Explorer 6 以上
必須プラグイン※	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe Flash Player 8 以上

サーバ環境		
CPU	Xeon 3GHz、Dual Core Xeon 1.6 GHz	
メモリ	1GB 以上	
空きディスク容量	1GB 以上 (ColdFusion を含む、Attain3 の動作環境のみの容量。履歴やコンテンツを除く)	
Windows サーバ※	OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Windows 2000 Server ● Microsoft Windows Server 2003
	Web サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft IIS 5.0 以上
	データベース	<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Windows SQL Server 2000
Linux サーバ※	OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Linux (RedHat Enterprise)
	Web サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ● Apache 2.0.43 以上
	データベース	<ul style="list-style-type: none"> ● MySQL 3.23 ● MySQL 5.0
アプリケーションサーバ※	Adobe ColdFusion MX 7 以上	

※: Attain3 最終リリース時の最新バージョンまでが動作確認対象となります。